

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和4年度報告書

学校法人 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター



Your Attention to Your Own Innovation!

はじめに



東京女子医科大学 解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授
同 ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長
本多 祥子

このたび令和 3 年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）に選定され、現在、全学体制で「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の様々な取り組みを実施しております。平素より多大なご理解とご尽力をいただいております関係者の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この事業は、本学の学祖吉岡彌生先生をはじめ偉大な諸先輩方の弛まぬ努力、さらに本学が 120 年以上にわたり培ってきた女性医療人活躍推進の精神的基盤があって、はじめて成り立っているものであると考えております。この貴重な背景を十分に活かし、将来グローバルヘルスリーダーとして国際社会と連携し社会問題解決を目指す「彌生人（やよいびと）」を育てるための苗床として、本学は今後、日本に唯一の女子医科大学としての重要な役割を担っていくこととなります。「Your Attention to Your Own Innovation !」をスローガンに、「YAYOI プロジェクト」に関わるひとりひとりが自身をイノベート（＝常に自分自身を変え成長させていくこと）する端緒を切り開くことを強く祈念いたします。

よく誤解されるのですが、この事業は女性医師のみを支援対象としているわけではありません。いわゆる non-MD の研究者、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、放射線技師・・・などなど本学に欠かせない様々な職種の教職員の方、ただし「研究意欲を持つ方」が対象です。「研究は続けたいけれど、業務やライフイベントに紛れて研究への熱意がだんだん薄れていってしまう」と悩んでおられる方を、是非「YAYOI プロジェクト」で支援させていただきたいと思えます。

また、様々な分野で優れた研究活動を継続されている女性研究者にスポットライトをあてることで、上位職へのステップアップをお手伝いする活動も実施しております。例えば「YAYOI プロジェクト」で実施する「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」等の研究支援を通じて、広い視野から自身の研究の立ち位置を理解するための機会と、より新しいステップへ到達するための手段を、実質的に獲得していただけます。さらに男性医師・研究者の皆様を含めて育児や介護などのライフイベントを様々な角度から実践的に支援することにより、幅広い視点で女性医療人の活躍推進を応援します。

本学ならではの「YAYOI プロジェクト」が実質的に定着できるよう、新たな支援事業・イベントを含めこれからも精力的に推進して参りますので、今後の情報展開や活動報告に是非ご注目ください。皆様からのご意見、ご要望のお声も心からお待ちしております。

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学 理事長
岩本 絹子

令和 3(2021)年度に採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の『令和 4 年度 報告書』が完成いたしました。

この度、文部科学省による令和 3 年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の補助金交付事業として、本学の女性医療人キャリア形成センターによる『グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOI プロジェクト」』が採択され、女性医療人キャリア形成センター長である肥塚常務理事はじめ関係各位の皆様方のご尽力により、「YAYOI プロジェクト」が始動し、2 年目を迎えております。

本学は、平成 28(2016)年から、文部科学省における女性研究者関連施策において、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されており、その成果をご評価いただいたことで、今回の「先端型」での採択に繋がっております。従前よりも更に高い目標を掲げ、女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用のより一層の推進を踏まえた、先端的な取り組みが望まれております。本学の建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」と、本学の理念である「至誠と愛」を実践し、広く国際社会でリーダーシップを発揮し、社会貢献に尽力することができ、そして、後進の育成を通じて、本学の理念「至誠と愛」を次世代に継承できる女性指導者「彌生人(やよいびと)」を育成してまいります。そして、女性指導者育成の基盤作りを、オール女子医大で構築することを期待しております。

本学は、令和 4(2022)年 12 月 5 日に創立 122 周年を迎えており、この「YAYOI プロジェクト」の活動を機に、本当の意味での女性活躍の代表的役割を、本学が担っていくことを願っております。

結びになりますが、本学における本事業の成果が実り多きものとなり、女性医療人による社会貢献そして生涯を通じて活躍し続けることのできる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学 学長
丸 義朗

採択させていただきました本プログラムにおける本学の課題名は、本学の創始者である吉岡彌生先生のお名前を冠した「YAYOI プロジェクト」であります。従いまして、提案した計画を忠実に実施することの他に、あらゆる点で本学の建学の精神と理念に則っているかどうか、自問自答しながら進めていかねばなりません。自立した女性医療人を保証することの一つがリーダー的存在です。卒業生調査はまだ十分とは言えませんが、多くの卒業生が社会に出て上位職で活躍していることは事実です。それを今以上に量も質も拡大するためには、大学における教授陣営に女性の持ち味が発揮されねばなりません。なぜなら本来の教授はリーダーに属するからであります。本学は教授の女性比率の30%をほぼ達成しました。これからが本当の勝負です。教授と一言で言ってもそのレベルに差があることは否めません。この30%女性教授の質的レベルの検証は、教授評価で実践していきます。また、この取り組みが、卒業生がリーダーとなれるような教育を実践する上で役に立っているかどうかを検証しなければなりません。その上で、この30%を維持するために、十分な吟味のもと、准教授や講師などの職位にも女性登用を促進します。女性教授候補となれる人材の発掘がそのミッションとなります。そして、その女性教員が力を発揮できる新しい背景の一つとして、情報技術を駆使した研究領域や活動があります。これを成功させるために、子育て支援が必須であることは言うまでもありません。保育施設などはその代表例です。本学のこの取り組みが他機関の良き手本となれるよう、協力してまいります。これにて私の挨拶とさせていただきます。



学校法人 東京女子医科大学 常務理事・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター センター長
肥塚 直美

本学は令和 3(2021)年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の取り組みを開始いたしました。『YAYOI プロジェクト』の“YAYOI”は“Your Attention to Your Own Innovation”であり、本学の学祖吉岡彌生先生のお名前を冠したものです。この先端型の選定にあたりましては、平成 28(2016)年度より行ってまいりました特色型(令和 3(2021)年度が最終年度)の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととされております。

本年度も YAYOI プロジェクトで柱となる架け橋研究、国際交流、AI 研究を中心として、理事長・学長先生の強いリーダーシップのもと、女性医療人キャリア形成センターを中心に全学をあげて精力的に取り組んできました。この取り組みの成果を報告書としてまとめることができたことを大変嬉しく思います。本年度の成果をふまえて、次年度に向けさらに邁進してまいります。

本学は、『医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する』という建学の精神と『至誠と愛』の教育理念のもと、最良の医療を実践する知識・技能を修め、高い人格を陶冶した医人を育成し、将来の医療に貢献することを目指しております。本事業をさらに推し進めて、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。



東京女子医科大学 特任教授・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター 副センター長
齋藤 加代子

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の2年目の事業を実施いたしました。本事業は、「特色型」において定めた「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」の3つの柱をより太く強固なものとする使命を有しています。すなわち、先端型の特徴の「研究力向上・リーダー育成」に関する3つの先端的取組「架け橋研究」「バーチャル研究交流・国際交流」「AI研究インターンシップ制度」により女性研究者の実力をつけて、「教授30%、准教授35%、講師40%」を達成する戦略であります。令和4(2022)年度の募集を行い多くの応募を頂きました。厳正な書類審査とWEB面接により、「架け橋研究支援」は5名、「国際共同研究支援」3名、「AI研究スタートアップ支援」4名が採択されました。採択者は皆、期待に応じて研究を遂行しておられ、本学における女性研究者の底力を感じるところです。

7月30日には、Zoomウェビナー「ダイバーシティ環境整備事業報告会」が開催され、特別講演として宮浦千里先生(中部大学 総長補佐・特任教授)に「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」のご講演をいただきました。令和4(2022)年度からの新たなプログラムとしては、「彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞」が挙げられます。優れた指導者(メンター)の指導により女性研究者(メンティ)が筆頭著者にて高インパクトファクターの雑誌に論文掲載できた4組が受賞し、11月2日に授与式を行いました。

育児・介護等のセーフティネットの充実、研究環境整備を行い、「至誠と愛」の理念の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮する女性を育成する本プロジェクトの成功は、まさに本学の建学の精神「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」の具現・実践であります。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」を通して、本学の多様な人材が最大限の能力を発揮することを願っております。

目次

はじめに	1
ごあいさつ	2
I 事業概要	7
目標	7
本事業のための体制整備	8
実施概要	9
事業計画	12
取組概要（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載） ...	18
令和 4(2022)年度活動年表	19
令和 3 年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会の実施	22
● 令和 3 年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会チラシ・プログラム	24
● 「先端型」事業紹介スライド（本多祥子室長）	25
II 事業報告① - 上位職への積極登用 -	33
女性教授割合の拡大状況	33
女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進	33
学長指名推薦による女性教授登用	36
オープンイノベーション講演会・交流会の実施	37
● 上位職への積極登用の取組 リーフレット	39
III 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -	41
本学の研究力向上状況	41
基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援	41
バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化	44
保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築	48
科研費申請支援	51
● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット	52
IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -	56
本学の研究環境整備状況	56
学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備	56
実践的介護支援体制の構築	57
研究支援員制度における対象者範囲の拡大	59
● 「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」ハンドブック	60
● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット	67
その他の活動	70
お問い合わせ先一覧	71

I 事業概要

目標

本学は、明治 33(1900)年に女性医療人（医師・看護師）育成と自立の精神に基づき設立された国内唯一の女子医科大学として、これまで様々な取組を行ってきました。平成 18(2006)年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、病児保育と短時間勤務制度の創設によって優れた女性研究者の研究継続支援を実施しました。事業終了後も、男女共同参画推進局（現在の女性医療人キャリア形成センター）を設置し、院内保育所に加え本学独自のファミリーサポートシステムによるきめ細やかな育児支援、また短時間勤務制度を育児期のみならず自己研鑽にも活用できる制度として創設し勤務環境改善に努めてまいりました。しかしその一方で平成 27(2015)年時点の本学女性教授比率は 124 名中 25 名（20%）と少なく、キャリアを積んだ女性研究者が上位職で十分に活躍できる大学となるためには、さらに全学的な支援体制と強力な取組が必須と考えられました。そこで平成 28(2016)年「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、女性医療人キャリア形成センターに新設したダイバーシティ環境整備事業推進室が中心となり、女性教授比率を 30%に引き上げるための女性上位職登用支援、女性研究者のための研究環境整備、女性教職員数の多い部署での勤務環境改善を実施し、令和 2(2020)年 7 月には特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成いたしました。

そして令和 3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』を発足いたしました。6 年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」のフレームに、先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標としております。

- ・女性在职比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- ・新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- ・女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- ・介護支援の充実をはかる

わが国唯一の女子医科大学として女性が活躍できる環境を整え、優れた研究業績を有する女性医療人に対し発展的な研究継続を支援し、グローバルヘルスリーダーへの強いモチベーションを持つ女性人材（「彌生人（やよいびと）」と呼称）を育成することで、医学研究・医療への貢献を実現するとともに、将来有望な女性医療人の上位職登用のチャンスを加速させ、女性医療人がより高い望みを実現すべく研究活動やキャリア形成に邁進できる体制づくりを本学全体で推進して参ります。



Your Attention to Your Own Innovation !

学祖 吉岡彌生(やよい)先生

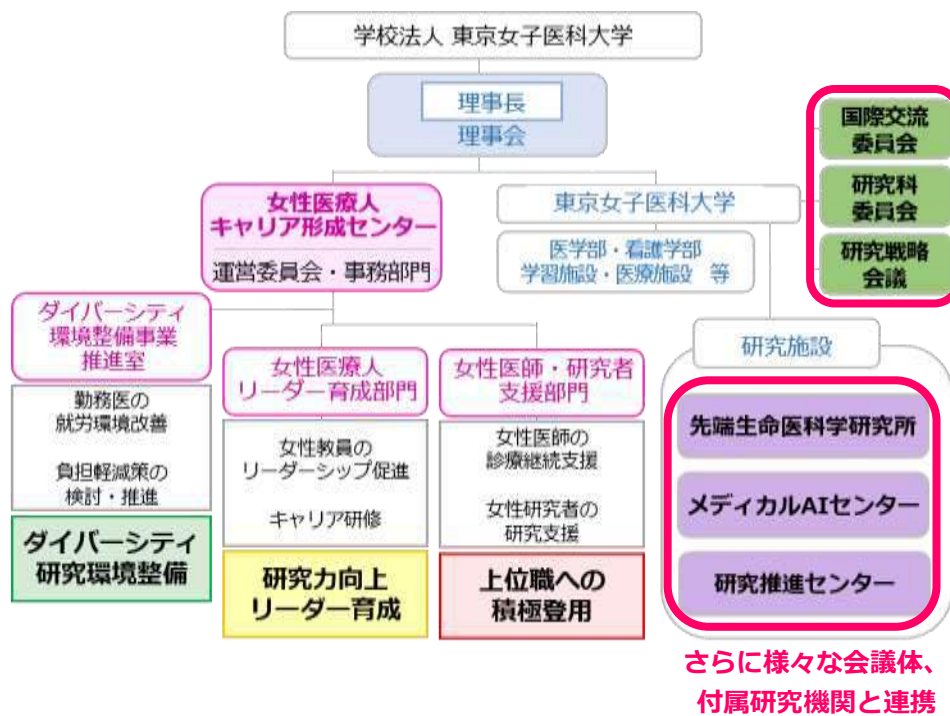


本事業のための体制整備

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担います。事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行います。

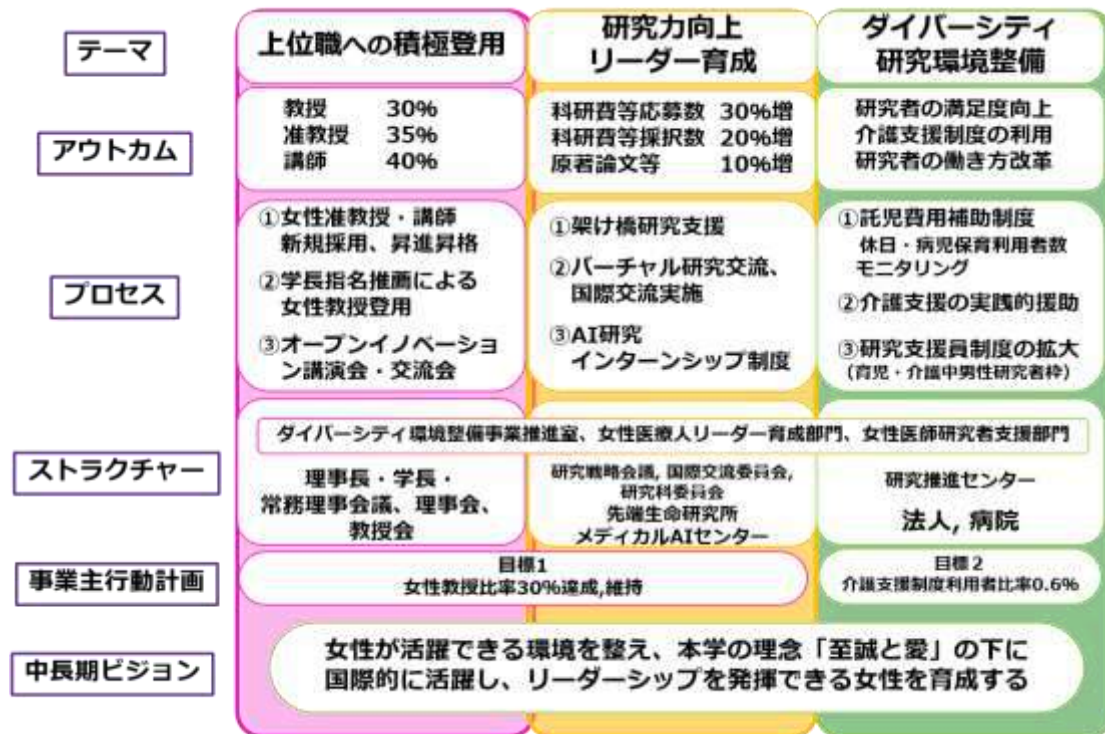
女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当します。

「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図ります。



実施概要

上位職への女性の積極登用 (=1)、そのための研究力向上とリーダー育成 (=2)、およびこれらを支えるダイバーシティ研究環境整備 (=3) の3つのテーマについて、6年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)」のフレームに更なる先端的取組を追加し、それぞれ事業主行動計画、ストラクチャー、プロセス、アウトカムを明確に設定しました (下図参照)。



(1) 上位職への積極登用の取組

①女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進：33 ページ

- 次世代の女性教授候補者層(准教授、講師)の裾野を広げるため、学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施
- 現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※) for 彌生人 (やよいびと)」の開催
※教授を中心としたロールモデルから直接経験談を聞き意見交換を行う場
- 女性研究者＝メンティが高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンターと当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人 (やよいびと) メンター・メンティ賞」を設立

②学長指名推薦による女性教授登用：36 ページ

- 学内外の優れた実績をもつ女性教職員を学長指名推薦により女性教授として登用

③オープンイノベーション講演会・交流会：37 ページ

- 本学先端生命医科学研究所「バイオメディカル・カリキュラム」と連携し、医・工・理の架け橋

研究等を紹介する「オープンイノベーション講演会」、新たな研究希望者と既に研究進行中の者とのマッチングの場「オープンイノベーション交流会」の企画・開催

(2) 研究力向上・リーダー育成の取組

①基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援：41 ページ

- ・「架け橋研究支援」制度の実施
- ・架け橋研究を推進する「架け橋研究指導者」と新たに架け橋研究を希望する者との意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の実施
- ・令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信

②バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化：44 ページ

- ・「国際共同研究支援」制度の実施
- ・国際共同研究を推進する「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催
- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助制度の実施
- ・国際共同研究用デジタルプラットフォームを活用した国際研究講演会・交流会の開催
- ・アバターロボットを用いた臨場感のある研究交流の実施
- ・国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援
- ・女性研究者をつなぐリアルタイムコミュニケーションツール（Slack）の活用
- ・令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信

③保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築：48 ページ

- ・「AI研究スタートアップ支援」制度の実施
- ・AI研究を推進する「AI研究指導者」がメンターとなり、新たにAI研究開始を希望する者に対する「AIインターンシップ」の実施
- ・AI講習会、研修会 参加費補助制度の実施
- ・AI講演会、AI演習会、AI相談会の開催
- ・令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信

④科研費申請支援関連：51 ページ

- ・科研費採択率向上のための申請書レビューの実施
- ・科研費セミナーの開催

(3) ダイバーシティ研究環境整備の取組

①学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備：56 ページ

- ・学会等参加時の託児費補助制度の実施
- ・院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預

かりの安全性検証および利用者数のモニタリングの実施

②実践的介護支援体制の構築：57 ページ

- ・介護見守り支援（ちょこっと介護見守り支援）の開始
- ・介護支援ハンドブックの作成
- ・介護支援に取り組む施設への視察
- ・介護講演会の開催

③研究支援員制度における対象者範囲の拡大：59 ページ

- ・平成 28 (2016) 年度（特色型）事業で構築した女性研究者対象の「研究支援員制度(※)」への育児中/介護中男性研究者枠の新設
- ※応募条件を満たす本学医学部の女性医学研究者が、研究活動上必要な補助業務を行う際に「研究支援員」を 1 名採用できる制度(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

以上のダイバーシティ研究環境整備事業の様々な取組は、女性医師・研究者のみならず全教職員・学生も対象としています。今後もさらに個別の状況に合わせた多角的かつ適切な支援を実施し、広く社会に役立つモデルを構築していきます。

(別紙)

事業計画書

I. 補助事業の内容

1. 補助事業の名称

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

2. 機関名

学校法人 東京女子医科大学

3. 補助事業の目的

①上位職登用（女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進、学長指名推薦による女性教授登用、オープンイノベーション講演会・交流会）、②研究力向上・リーダー育成（基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援、バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化、保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築）、③ダイバーシティ研究環境整備（実践的介護援助体制の構築、研究支援員制度における対象者範囲の拡大）を通じて、以下を達成することを本事業の目的とする。

- a. 女性在职比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- b. 新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- c. 女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- d. 介護支援の充実をはかる

4. 本年度の事業の項目及び内容

○取組期間における研究者在職者数、女性在职比率

	助教以下 (うち女性)	講師 (うち女性)	准教授 (うち女性)	教授 (うち女性)	女性在职 比率
令和2年5月 1日(実績)	1,735(826)	164 (64)	120 (30)	133 (38)	45%
令和3年度	1,697(815)	152 (60)	123 (30)	128 (37)	45%
令和4年度	1,746(838)	154 (60)	120 (30)	130 (38)	45%
令和5年度	1,738(844)	162 (63)	120 (32)	130 (39)	45%
令和6年度	1,737(844)	161 (63)	120 (32)	132 (39)	45%
令和7年度	1,737(844)	161 (63)	120 (32)	132 (39)	45%
令和8年度	1,735(826)	164 (66)	124 (43)	132 (40)	45%

○取組期間における研究者採用者数、女性採用比率

	助教以下 (うち女性)	講師 (うち女性)	准教授 (うち女性)	教授 (うち女性)	女性採用 比率
令和2年5月 1日(実績)	184 (86)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	46.1%
令和3年度	188 (90)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	46%
令和4年度	204 (97)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	46%
令和5年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%
令和6年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%
令和7年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%
令和8年度	204 (101)	8 (6)	8 (1)	6 (2)	54%

(1) 本事業推進のための体制整備

- ・「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業を円滑に進めるために、各施策推進の司令塔としての役割を担っている「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が引き続きその任を担う。本事業の各取組についての具体的審議は「ダイバーシティ担当推進者会議」で行う。「ダイバーシティ担当推進者会議」で採択された重要事項については女性医療人キャリア形成センターを通じ、理事会での審議決定を必要とする。

女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当する。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図る。

(2) 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進（上位職登用）

- ・次世代の女性教授候補者層（准教授、講師）を厚くし裾野を広げるため、医師以外の学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な「個別アドバイス（キャリア面談）」を行うためのメンター（准教授、講師）の募集および登録を行い、「個別アドバイス（キャリア面談）」を実施する。

- ・現准教授・講師をロールモデルとした「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」実施における講師登録（准教授、講師）を行い、「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」を開催する。

- ・優れた指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師・看護師・non-MDを含む）が高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった女性研究者＝メンター（医師・看護師・non-MDを含む）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を設立する。受賞者には、研究助成を行うことで、更なる研究力向上の機運を高めてもらうことを狙いとする。また、これを受賞したメンター、メンティそれぞれを学長指名推薦候補者とすることで、上位職登用の裾野を拡大する。架け橋研究、国際共同研究、AI研究の各分野のみならず、広く臨床医学系、

基礎医学系、看護系を対象として学内全体から募集し表彰する。

(3) 学長指名推薦による女性教授登用（上位職登用）

- ・国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者を含む）を教員評価制度の公平な評価結果や国際活躍業績に基づき学長指名推薦により女性教授として登用していく。女性登用実績の評価方法等も十分検討され既に体制は整っており、候補者があれば適宜推薦を実施する。
- ・前述の「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を受賞したメンターが准教授の場合、学長指名推薦候補者とすることで、上位職登用促進を図る。

(4) オープンイノベーション講演会・交流会（上位職登用）

- ・女性研究者の研究マインドの醸成を図り、異分野融合研究の活性化を目指すための講演会、交流会を開催する。
講演会では、①国内外で著名な研究者（男女問わず）、②本学先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」修了生、③本学の女性研究者で優秀なもの（架け橋研究支援 修了生含む）を講師とする。また講師と参加者による交流会を開催する。
- ・令和4年度メーリングリストの登録を行い、研究希望者への情報発信に努める。

(5) 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援（研究力向上・リーダー育成）

- ・第2回「架け橋研究支援」の応募ならびに審査を実施し、採択者の支援を行う。
- ・基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ医・工・理の架け橋研究を推進する架け橋研究指導者（担当責任者および担当責任者が任命した者、令和3年度「架け橋研究支援」採択者）と新たに架け橋研究を希望する者との相互に意見交換ができる場「架け橋研究紹介ツアー」を実施する。
- ・令和3年度 第1回「架け橋研究支援」採択者による成果報告等を発信するための収録・動画配信を行う。
- ・「架け橋研究支援」採択者による研究業績を収集し、支援成果としての分析を行い、支援の在り方を検討する。

(6) バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化（研究力向上・リーダー育成）

- ・第2回「国際共同研究支援」の応募ならびに審査を実施し、採択者の支援を行う。
- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者および国際研究支援を受けた女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助を行う。
- ・令和4年度メーリングリストの登録を行い、研究希望者への情報発信に努める。
- ・バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化の研究指導者（担当責任者および担当責任者が任命した者、令和3年度「国際共同研究支援」採択者）と新たに国際共同研究を希望する者とのマッチングを行い、オンライン・リアルでの相談会を開催する。

- ・海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームなどを活用した国際研究講演会・交流会を開催する。
 - ・学外（海外を含む）と学内の研究者間でアバターロボットを用いた、臨場感のある研究交流を実施する。
 - ・令和3年度 第1回「国際共同研究支援」採択者による成果報告等を発信するための収録・動画配信を行う。
 - ・「国際共同研究支援」採択者による研究業績を収集し、支援成果としての分析を行い、支援の在り方を検討する。
- (7) 保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築（研究力向上・リーダー育成）
- ・第2回「AI 研究スタートアップ支援」の応募ならびに審査を実施し、採択者の支援を行う。
 - ・学内女性研究者が外部で開催されている AI 講習会、研修会に参加する場合に参加費を支援する。
 - ・スタージェン社への委託により、学内にて AI 講演会、AI 演習会、AI 相談会を開催する。
 - ・保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築の研究指導者（担当責任者および担当責任者が任命した者、令和3年度「AI 研究スタートアップ支援」採択者）がメンターとなり、新たに AI 研究開始を希望する学内女性研究者に対し、「AI インターンシップ」を実施する。
 - ・令和4年度メーリングリストの登録を行い、研究希望者への情報発信に努める。
 - ・令和3年度 第1回「AI 研究スタートアップ支援」採択者による成果報告等を発信するための収録・動画配信を行う。
 - ・「AI 研究スタートアップ支援」採択者による研究業績を収集し、支援成果としての分析を行い、支援の在り方を検討する。
- (8) 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備（ダイバーシティ研究環境整備）
- ・女性研究者に対し、学会参加時の託児費補助を実施し、継続した研究環境を支援する。
 - ・やよい保育園（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預かりを安全に実施していることの検証および利用者数のモニタリングを引き続き実施する。
- (9) 実践的介護支援体制の構築（ダイバーシティ研究環境整備）
- ・特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロに委託し、介護見守り支援サービス（ちょっと介護見守り支援）を開始する。

- ・ 本学教職員を対象として実施した、「介護現状調査アンケート」の結果を論文とし、広く結果を公表する。
 - ・ 「介護現状調査アンケート」結果を受けて、介護支援ハンドブックを作成し、介護に関する知識の周知を目指す。
 - ・ 先駆的に介護支援に取り組む施設への視察を行う。
 - ・ 介護経験者による「座談会」を開催し、より介護を身近に感じる機会を提供する。
- (10) 研究支援員制度における対象者範囲の拡大（ダイバーシティ研究環境整備）
- ・ 育児中または介護中の女性研究者および優れた研究業績を有する将来有望な女性研究者を対象に実施している研究支援員制度をさらに拡大し、育児中または介護中の男性研究者1名の支援を行う。
 - ・ 本事業については、自主経費で実施する。
- (11) 科研費申請支援関連（研究力向上・リーダー育成）
- ・ 科研費採択率向上のため、申請に際しての支援として講演会ならびに申請書添削を提供する。

5. 補助事業期間

- ・ 補助事業の完了（予定）日 令和5年3月31日

II. 補助事業の実施体制

※「I. 4. 本年度の事業の項目及び内容」と対応。

事業項目	実施場所	担当責任者
(1) 本事業推進のための体制整備	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子
(2) 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	常務理事・女性医療人 キャリア形成センター長 肥塚 直美
(3) 学長指名推薦による女性教授登用（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	常務理事・女性医療人 キャリア形成センター長 肥塚 直美
(4) オープンイノベーション講演会・交流会（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医科学研究所 所長・教授 清水 達也
(5) 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医科学研究所 所長・教授 清水 達也
(6) バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座顕微解剖学・ 形態形成学分野 教授・基幹分野長 石津 綾子
(7) 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医科学研究所 教授 正宗 賢
(8) 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	衛生学公衆衛生学講座 公衆衛生学分野 教授・基幹分野長 野原 理子
(9) 実践的介護支援体制の構築（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子
(10) 研究支援員制度における対象者範囲の拡大（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	臨床検査科 教授 佐藤 麻子
(11) 科研費申請支援関連業務（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子

取組概要 (ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載)

東京女子医科大学 (先端型)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：R3年～R8年

【特長】 Your Attention to Your Own Innovation !

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型) のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を進展させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

学組 吉岡 雅生(やよい)先生

【実施体制】

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担い、事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行う。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が女性医療人キャリア形成センターの各部門、学内委員会、研究施設と密に連携し各事業の確実な進捗を図る。

さらに様々な会議体、付属研究機関と連携。

【取組概要 (目標)】

1. 上位職登用：学長のリーダーシップの元、学長指名推薦による准教授・講師の昇進昇格、採用を促進。優れた女性研究者を発掘する。
2. 研究力向上とリーダー育成：オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援を行う。異分野を繋ぐ架け橋研究支援、AIインターンシップ制度、AI研究スタートアップ支援により女性研究者の研究夢を促進する。
3. ダイバーシティ研究環境整備：オンラインを含む学会等参加時の託児費補助制度、実践的介護支援を新設する。研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者に拡大する。

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウツカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	44研究等誌登載 30%増 44研究等採択数 20%増 学芸論文等 10%増	研究費の高品質度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
事業主行計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持	目標2 介護支援制度利用比率0.6%	
中長期ビジョン	女性が活躍できる組織を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

【支援内容】 研究力向上とリーダー育成の取り組みとして女性研究者を支援します

上位職への積極登用

- ① 女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション 講演会・交流会

**研究力向上
リーダー育成**

- ① 架け橋研究支援
- ② バーチャル研究交流、国際交流実施
- ③ AI研究 インターンシップ制度

**ダイバーシティ
研究環境整備**

- ① 託児費用補助制度 休日・病児保育利用者数 モニタリング
- ② 介護支援の実践的援助
- ③ 研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者等)

長期継続のための「後進育成」体制の構築

「次世代国際交流指導者」「次世代AI研究指導者」「次世代架け橋研究指導者」

Your Attention to Your Own Innovation !
女性研究者自らイノベーションを志しキャリアアップの基盤を構築
研究資金の獲得能力向上により経済的自立を目指す
臨床を育む

寄附や競争的外部資金獲得のみに頼ることなく
本学の産学連携における運営力を駆使しつつ
企業や団体との契約に基づく確かな外部資金獲得を目指す工夫を実践

◆研究支援

- ① 架け橋研究支援
基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
- ② 国際共同研究支援
国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
- ③ AI研究スタートアップ支援
保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援

◆補助制度

- ① 学会等参加時の託児費補助
- ② 国際共同研究における英語論文掲載料補助
- ③ AI講習会、研修会参加費補助

◆ダイバーシティ研究環境整備

- ① 院内保育所の休日・特設保育の整備
- ② ファミリーサポート体制を活用した“ちょこっと介護見守り支援”
- ③ 男性研究者のための研究支援員制度利用枠新設

アノ(ター)ロボット「ニューミー」

国際共同研究を活性化
他外の複数の大学と共用できる
研究用デジタルプラットフォームを構築

【これまでの成果】

2016年 文部科学省 (JST) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型) 採択

特色型による取組により、女性教授比率が上昇
2020年7月に目標である30%を達成
<受賞歴>
2017年 東京都女性活躍推進大賞
2020年 日産財団 第3回リカジョ奨励賞

年度	女性 割合	女性 割合	合計
2015.5	20.7%	25	121
2016.5	22.2%	26	117
2017.5	18.9%	23	122
2018.5	24.2%	31	128
2019.11	29.6%	42	142
2020.07	30.1%	42	139
2021.07	30.4%	41	135

【お問い合わせ】

機関名：学校法人東京女子医科大学
所在地：東京都新宿区河田町8-1
連絡先：03-3353-8112
(内線30165,30166)
cdc_bm@twmu.ac.jp
HP：http://www.twmu.ac.jp/gender/
女性医療人キャリア形成センター

令和 4(2022)年度活動年表

実施日	内容
令和 4(2022)年度	
4/1	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）」募集開始
	「ちょこっと介護・見守り支援」開始
	男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
4/15	「AI・臨床統計無料相談会」参加受付開始
4/19	第 6 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
4/21	「学会参加時等の託児費補助制度」、「英語論文掲載料補助制度」、「AI 講習会、研修会 参加費補助制度」受付開始
	「YAYOI プロジェクト」情報発信 メーリングリスト登録受付開始
4/27	第 1 回介護サポート調整会議（オンライン）
5/19	第 7 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
5/26	第 2 回介護サポート調整会議（オンライン）
6/3	東京女子医科大学病院循環器内科とタイの病院（Bangkok Christian Hospital）との Temi 通信テスト実施
6/13	「研究支援（AI 研究スタートアップ研究支援）」面接審査実施
6/14	「研究支援（架け橋研究支援）」面接審査実施
6/16	「研究支援（国際共同研究支援）」面接審査実施
6/21	第 8 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
6/29	「研究支援」採択者決定（架け橋研究支援 1 名、国際共同研究支援 2 名、AI 研究スタートアップ研究支援 2 名）
	「研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）」再募集開始
7/15	第 9 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
7/26	「研究支援（架け橋研究支援）」再募集面接審査実施
7/27	「研究支援（国際共同研究支援・AI 研究スタートアップ研究支援）」再募集面接審査実施
7/30	令和 3 年度ダイバーシティ環境整備事業報告（特色型・先端型）開催
8/1	第 4 回介護サポート調整会議（オンライン）
	「研究支援」採択者決定（架け橋研究支援 4 名、国際共同研究支援 2 名、AI 研究スタートアップ研究支援 2 名）
8/2	男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査実施
8/4	第 2 回オープンイノベーション講演会開催
8/8	男性研究者のための「研究支援員制度」採択者決定
8/18	第 10 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
8/22	「彌生人メンター・メンティ賞」募集受付開始

実施日	内容
令和4(2022)年度	
8/24	「研究支援(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援)」採択者授与式開催
8/29	「研究支援(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援)」採択者授与式開催
9/20	第11回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)
9/28	第1回ピアラーニング for やよいびと開催
	イタリア大臣(大学・研究担当)来学
	第5回介護サポート調整会議(オンライン)
9/30	JSTによる令和3年度額の確定調査実施
10/1	令和5(2023)年度男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
10/3	国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援募集開始
10/4	「彌生人メンター・メンティ賞」選考会
	「彌生人メンター・メンティ賞」受賞者決定(4組)
10/20	第12回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)
10/24	第6回介護サポート調整会議(オンライン)
11/2	「彌生人メンター・メンティ賞」授与式開催
11/14	第7回介護サポート調整会議(オンライン)
11/18	第13回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)
11/21	長野県松本保健福祉事務所・木曾保健福祉事務所オンライン面会
12/10	介護サポート通信第1号発行
12/14	第8回介護サポート調整会議
12/19	第2回ピアラーニング for やよいびと開催
12/20	第14回ダイバーシティ担当推進者会議(オンライン)
	ちょこっと介護説明会開催
12/21	画像データ演習会開催
	ちょこっと介護説明会開催
	介護サポート提供会員向け茶話会開催
12/22	Slackを利用した本学研究者のための「YAYOIコミュニティ」参加募集開始
12/26	ちょこっと介護説明会開催
12/28	大阪公立大学 介護支援について Zoom 視察
1/5	令和3(2021)年度研究支援採択者研究報告動画「東京女子医科大学公式 YouTubeチャンネル」にて配信開始
1/11	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
1/12	看護学部成人看護学での temi 実装
	ちょこっと介護説明会開催
1/18	令和5(2023)年度男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査
	国際共同研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催

実施日	内容
令和4(2022)年度	
	第9回介護サポート調整会議
1/19	第15回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
1/26	第3回オープンイノベーション講演会開催（オンライン）
	富山大学 介護支援について Zoom 視察
	ちょこっと介護説明会開催
2/9	第1回介護講演会開催（オンライン）
	ちょこっと介護説明会開催
2/13	第2回 医療・ヘルスケア AI 講演会開催（オンライン）
2/16	第10回介護サポート調整会議
	ちょこっと介護説明会開催
2/20	表形式データの機械学習演習会開催（オンライン）
2/21	第16回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
2/22	第3回ピアラーニング for やよいびと開催（オンライン）
	ちょこっと介護説明会開催
2/24	第1回科研費セミナー開催（オンライン）
3/8	ちょこっと介護説明会開催
3/9	架け橋研究採択者による後進育成活動 顔合わせディスカッション会開催
3/13	ちょこっと介護説明会開催
3/16	第17回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
3/23	ちょこっと介護説明会開催
3/24	第11回介護サポート調整会議
3/31	令和4(2022)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」活動報告書発行

令和3年度 ダイバーシティ環境整備事業報告会の実施

令和4(2022)7月30日(土)、彌生記念教育棟104会議室にて、Zoomウェビナー「ダイバーシティ環境整備事業報告」が開催されました。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みZoomウェビナーによる開催となりましたが、学内のみならず北は北海道から南は沖縄県まで学外からも多数のご参加をいただき、女子医大ダイバーシティ事業への関心の高さが伺えました。



報告会の冒頭、岩本絹子理事長と丸義朗学長のビデオメッセージによるご挨拶をいただきました。岩本絹子理事長からは「女性活躍推進法が成立した現代においては社会に貢献する女性医療人、そして指導的立場の役割を担う人材の輩出が望まれており、女性医療人を輩出し続けている本学の役割はより一層重要な存在となっています」とのお言葉をいただきました。続いて、丸義朗学長は「本事業の到達目標と実施計画のPDCAサイクルをきめ細かに回転させながら本事業に取り組んで参ります」と本事業に邁進する決意を語られました。その後、肥塚直美常務理事(女性医療人キャリア形成センター長)が開会の挨拶を述べられ、会が開始となりました。

第1部「報告会」では、まず令和3(2021)年度に6年間の事業期間を終了した文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」について、野原理子教授・基幹分野長(衛生学公衆衛生学講座(公衆衛生学分野)、女性医師・研究者支援部門副部門長)より成果・総括についての報告がありました。平成28(2016)年度に採択された「特色型」では、本学の事業主行動計画に基づき「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」の3つのテーマを掲げ、女性教授比率30%を目標として事業に取り組んでまいりました。その結果、6年間で特任教授・特命担当教授を含む36名の女性が教授に登用され、2020年度5月の時点で女性教授比率30%を達成しました。ただし、女性上位職の十分な割合の確保と維持、競争的基金の獲得、そして介護支援の充実など課題があり、今後は先端型にてこれらの課題解決とさらなる高みを目指して事業を進めてまいります。



続いて令和3(2021)年度より新たにスタートした同事業「先端型」について、本多祥子准教授(解剖学(神経分子形態学分野)、ダイバーシティ環境整備事業推進室長)より初年度の取組について報告いたしました。「先端型」では、より高みを目指す女性医療人を育むことを目的として、グローバルヘルスリーダーとさらなる女性登用「YAYOIプロジェクト」を立ち上げました。このYAYOIは、自らのイノベーションを意識していこうという意味の英語、Your attention to your own innovation!を、本学の学祖、吉岡彌生先生のお名前に絡めています。YAYOIプロジェクトでは、女性教授の基盤となる女性准教授・講師の昇進昇格を積極的に推し進める体



制を構築していきます。研究意欲を盛り上げる取組として、先端生命医科学センターTWINsを主体とした「オープンイノベーション講演会」開催に加え、「架け橋研究」「国際共同研究」「AI研究」3種の研究支援制度を創設し、2021年度は女性研究者10名の支援を実施しています。第1部の後半では、この10名による研究成果報告も動画で行われ、本学の女性研究者の活躍を多くの方に知っていただく機会となりました。また、「学会参加時の託児費補助」や「英語論文掲載料補助」「男性研究者を対象とした研究支援員制度」の実施、さらに院内保育所におけるICTを活用した環境整備、介護支援ファミリーサポート「ちょこっと介護見守り支援」の始動についてもご報告いたしました。今後も新たな取組を追加して参ります。

第2部「特別講演」では、齋藤加代子特任教授（ゲノム診療科、女性医療人キャリア形成センター副センター長）の座長のもと、宮浦千里先生（中部大学 総長補佐・特任教授）より「科学技術領域におけるダイバーシティ推進」と題したご講演を賜りました。わが国の男女共同参画において解決すべき問題点について、宮浦先生がこれまで活動拠点とされてきた東京農工大学で明らかにな



った事柄と有効な取組方法についてご教授くださいました。科学領域におけるダイバーシティ促進のためには、異分野融合・文理融合・性差融合など応用科学における多様性を意識した教育・研究が必要であること、また科学技術領域における女性リーダー育成強化のためには、「ライフイベントとの両立環境、採用・昇進における女性登用の推進方策、組織としてのダイバーシティ戦略」を基本的インフラとして全国にしっかり定着させていくことが必要、との力強いメッセージを頂戴いたしました。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、番場嘉子講師（外科学講座（下部消化管外科学分野））、石津綾子教授・基幹分野長（解剖学講座（顕微解剖学・形態形成学分野））、小川久貴子看護学部長（発表順）から日頃感じている疑問などをお話いただき、宮浦先生より丁寧なアドバイスをいただきました。最後に石黒直子医学部長（女性医療人リーダー育成部門長）より閉会のご挨拶を賜り、会は終了となりました。



当日の様子を女性医療人キャリア形成センターHPにて動画公開しております。下記QRコードよりYouTubeにてご覧いただけます。



ダイバーシティ事業推進担当者会議



COVID-19感染拡大防止のため、毎月1回オンラインにて実施

目標・行動計画

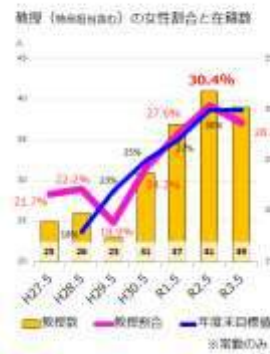
テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	助教 30% 准教授 35% 講師 40%	科学研究費助成金 30%増 科学研究費助成費 20%増 専断論文等 10%増	研究者の高度化向上 作業支援環境の充実 研究力の増進方法改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進対応 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープンイノベーション 講演会・交流会	①単独・共同研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③AI研究 インターンシップ制度	①高付加価値活動制度 創設 海外研究視察等 実施プログラム ②作業支援の高度化・効率化 ③研究支援員制度の拡大 (20%) (学長指名推薦等)
ストロクチャー	ダイバーシティ推進推進委員会、女性活躍推進委員会、女性活躍推進推進部	学長、学長代理、学務部長、学務部長補佐、学務部長補佐、学務部長補佐、学務部長補佐	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	女性活躍推進法20%達成目標		目標2 作業支援員採用率向上率10%
中期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「未来と誇り」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

Your Attention to Your Own Innovation !

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

平成27年～令和3年 教授職における女性割合の推移



年度	女性割合 (%)	女性	男性	合計
H27.5	21.7%	25	90	115
H28.5	22.2%	26	91	117
H29.5	18.9%	23	99	122
H30.5	24.2%	31	97	128
R01.5	27.6%	37	97	134
R02.5	30.4%	41	94	135
R03.5	28.7%	39	97	136

女性教授率30%の達成と維持

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
教授 <small>(専任専任・専任専任助教授)(学外からの兼任・客員)</small>	4名	5名 (0/2名)	13名 (0/1名)	6名 (2/0名)	6名 (3/0名)	2名 (0/0名)
准教授 <small>(専任専任・専任専任助教授)</small>	5名	4名	7名	7名	6名	8名
講師 <small>(専任専任・専任専任助教授)</small>	12名	11名	12名	21名	16名	15名
他大学 教授採用者	-	2名	3名	2名	1名	2名

平成27年～令和3年 准教授、講師における女性割合の推移



年度	女性割合 (%)	女性	男性	合計
H27.5	28.1%	34	87	121
H28.5	29.9%	38	89	127
H29.5	31.1%	42	93	135
H30.5	27.3%	37	87	124
R01.5	29.8%	34	80	114
R02.5	25.0%	30	90	120
R03.5	25.0%	31	90	121

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
 ② 学長指名推薦による女性教授登用 **約30%の女性教授による後押しを活用**

新規採用 従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター **プラス**
「後進女性研究者を指導する能力」 を評価
 所属部署における若手女性研究者の業績・研究費獲得への貢献度

昇進・昇格 従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター **プラス**
教員評価制度の評価結果・国際活躍業績 を評価
 女性研究者育成や研究環境整備への貢献度

専攻医学系講師、
付帯研究助成の
女性研究者
(若手・若手以上)を
含む

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
 ② 学長指名推薦による女性教授登用

キャリア形成のための実践的な個別アドバイス体制の整備 **企画・準備中**
 メンター（准教授、講師）を登録（MD、non-MD、男女問わず）
 → 相談希望者（メンティ：助教、研修医、院生など女性研究者）を募集
 → マッチング
 → オンラインor対面でキャリア形成のための個別相談会を実施

ピアラーニング for やよいびと **企画・準備中**
 ロールモデルとなる現職の准教授や講師、PIを登録（学内・学外問わず）
 → 助教、研修医、院生など女性研究者から広く参加希望者を募集
 → 臨床医学・基礎研究・看護等様々な分野の「ピアラーニング」を実施

Your Attention to Your Own Innovation !

(1) 上位職への積極的登用

① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
 ② 学長指名推薦による女性教授登用
 ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

(1) 上位職への積極的登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

附属研究施設のひとつ
先進生命医学センター(TWIns)
 が毎年実施する
バイオメディカルカリキュラム
 (異分野・異業種から受講生が参加)
 ↓
 修了後の共同研究成果や体験など
「オープンイノベーション講演会・交流会」
 ↓
広く学内外の女性研究者
 (特に学生や若手、海外を含む)
 の研究員数をかき立て、
 新たな先端医学・異分野融合研究の
 開拓につなげる
 ↓
 世界レベルの人材育成と
 先端医療開発

(1) 上位職への積極的登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

第1回オープンイノベーション講演会
 令和4年1月24日オンライン開催 約50名が参加

参加者の声
 ～参加者アンケートより～
 【女性医師】
 産科医としての「自分の世界を切り開きたい」という思いを強く感じ、参加を促し、奮闘で実現しようとしてきました。今回の大会での参加は、自分のモチベーションを高め、新たな発見や学びを得ることができました。

演者：
小林真聖先生
 (東京工大 特任准教授)
高橋政代先生
 (株式会社シロンケア 代表取締役社長、眼科医)

(1) 上位職への積極的登用

③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

第2回オープンイノベーション講演会
 日時：令和4年8月4日(木) 18:00-19:30
 オンラインにて開催いたします。

演者：
森嶋麻子先生
 (東京女子医科大学 外科学講座 下部消化器外科 講師
 メディカルAIセンター 副センター長)
小林英津子先生
 (慶応大学大学院工学部研究科 精密工学科/精密工学専攻 教授)

女性医療人キャリア形成センターHPにて
 参加申込み受付中です。是非ご参加ください。

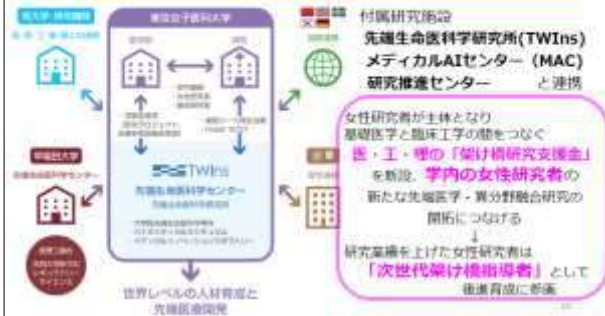
Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援



(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

「架け橋研究支援」の実施 一令和3年度架け橋研究支援金採択者4名一

<p>関谷依智子 助教 先端生命医科学研究所 「女性共創と看護学セブとの両立 野上ルノイドの臨床開発」</p>	<p>青木直子 助教 先端生命医科学研究所 「加工調整によるヒト心臓細胞の構造、機能に対する 画期的な制御性制御の検証」</p>
<p>香嶋高子 准講師 生命科学分野 (下部消化器外科学分野) 「学術界での総合臨床・治療の経験と 手術開発の両輪共有による学術支援」</p>	<p>金谷麻子 助教 生理学講座 (神経生理学) 「脳神経学を応用した痛み行動研究の確立」</p>

※採択者の顔ぶれ・所属を記載

Your Attention to Your Own Innovation !

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

学生国際交流活動ですでに活用しているデジタルプログラムを基盤として
海外の複数の大学と共用できる研究用デジタルプラットフォームを構築
メンバー大学間で安全に研究ノウハウやデータを共有し
研究効率を促進、国際共同研究を活性化

国際共同研究中もしくは経験を有する女性研究者：**国際交流指導者**を中心に
新たな国際研究交流を増加



(2) 研究力向上、リーダー育成

- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

「国際共同研究支援」の実施 一令和3年度国際共同研究支援金採択者3名一

<p>石津綾子 教授・基幹分野長 前研究員 藤田麻由子、先端生命医科学 「単一細胞単個における サイトカイン応答性解析」 [Single cell based analysis of hematopoietic stem cell response to cytokine signaling] スウェーデン・ロンドン大学との共同研究</p>	<p>岡村(中山)寿子 助教 生理学講座 (神経生理学) 「ストレスによる 脳内神経回路の改善」 [Stress-induced remodeling of neural circuits in the sensory cortex] コロンビア大学・トロント大学、共同研究 [ロンドン大学との共同研究]</p>	<p>近藤佳 助教 国際健康・国際化学講座 国際健康・国際化学講座 「アフリカ辺境地域における栄養 不食の発生とリスク要因の解明」 [Determining the causes and risk factors of malnutrition in marginal areas of Africa] ケニア・タンザニア共同研究、ケニア保健省 との共同研究、国際共同研究センター</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※採択者の顔ぶれ・所属を記載

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

研究用デジタルプラットフォームの構築

XR空間(XRCC)を用いたハーバード大学との国際共同研究のキックオフミーティングを実施(令和4年2月)



長坂安子 教授・脳科学分野
北原秀治 特任准教授
森脇裕太 准教授

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

アバターロボット「temi」を使用して、シンカポール国立大学の国際共同研究者(Dr. Lee Hui, Dr. Spencer)が本学のラボを視察(令和4年1月)



アバターロボット「temi」
石津綾子 教授・脳科学分野

Your Attention to Your Own Innovation!

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

学内研究拠点のひとつ

メディカルAIセンター(MAC)に「AI研究インターンシップ制度」を新設

AI研修、講習会参加機会を提供(学内女性研究者には参加費一部補助)

広く学内外の女性研究者(特に学生や若手研究者、医師、看護師を含む)の研究意欲をかき立て、新たな先端医学・AI研究の開拓につなげる

MAC「AI研究指導者」に師事し新たにAI研究を開始する女性研究者を増加

支援を受けた女性研究者: 次世代AI研究指導者として後進育成に参画



AI研究スタートアップ
支援金で
強力にバックアップ

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

「AI研究スタートアップ支援」の実施

石下華子 准講師 国際連携・脳科学講座(国際連携・脳科学分野)
「ノーコード・ノープログラミング」を用いた「カンパ」における産学連携型マテリアル開発支援



河合新子 助教 脳科学講座 脳科学分野
「IBM」学部を利用したデータクラスターリンク



令和3年度AI研究スタートアップ支援金
採択数: 10名

駒田結乃 准講師 看護部
「Artificial intelligence(AI)を用いた、
ストーママネジメント全量サービス」の開発



※採択時の順位、採択額を記載

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

「AI研究インターンシップ制度」の創設

AI研究実践に必要な基本知識を効率良く学べるAIセミナーや演習会をセンター主催で企画し、定期的開催(株・学生・共創)

令和4年2月
第1回医療・ヘルスケアAI講習会
(98名参加)



令和4年2月
「AI」演習会
(4名参加)

(2) 研究力向上、リーダー育成

① 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

「AI講習会、研修会 参加費補助制度」の創設

女性研究者が自らの希望するテーマでAI研究を開始するための基本知識習得機会を増やすことを目的とし、AI研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外のAI講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助

R3年度4名支援
現在R4年度申請受付中



Your Attention to Your Own Innovation !

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備

「育児・介護に関するアンケート調査」 令和3年実施

東京女子医科大学全教職員を対象に、育児・介護に関する現状やニーズを調べることを目的としたオンラインアンケート調査を実施

[回答期間]令和3年12月15日
～令和4年1月5日

[有効回答数]1,796名/6,082名
[回収率] 29.6%

令和元年12月
第1回介護に関する全教職員対象アンケート調査時の回収率：11.3%



(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備

「学会参加時等の託児費補助制度」 の創設

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会等（オンライン含む）に参加する育児中の本学女性研究者が、託児サービス（ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、学会の託児サービスなど）を利用する際、その費用を一部または全額補助（対象となる子ども1名につき1万円/1回まで）

現在令和4年度申請受付中



(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備

保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のための やよい保育園（院内保育所）のICT環境整備

保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供する。



保育満足度とニーズ把握のための 利用者アンケート実施

保育園利用者定期的にアンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討する。



Your Attention to Your Own Innovation !

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q あなたは介護をしていますか？
もしくは、していましたか？



令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q 仕事と介護のバランスはどのような形が望ましいですか？



参考 令和元年度アンケート結果 | 東京女子医大雑誌91(4):205-218, 2021
学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題：介護に関するアンケート調査結果から

令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

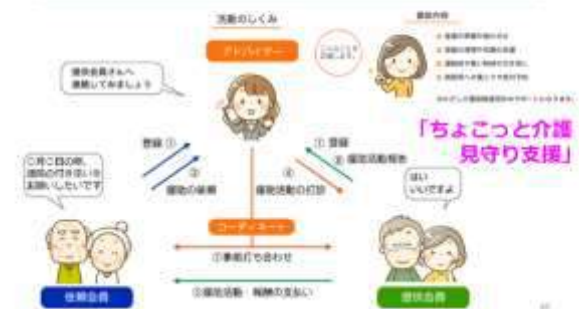
Q 現在もしくは将来の介護に
どの程度不安を感じていますか？



参考 令和元年度アンケート結果 | 東京女子医大雑誌91(4):205-218, 2021
学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題：介護に関するアンケート調査結果から

(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築



令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q 「女子医大ファミリーサポート」に介護見守り支援が
導入された場合、利用（登録）したいと思いませんか？



令和3年
東京女子医科大学・大学病院に在籍する全教職員対象
介護の現状やニーズに関するアンケート調査結果より

Q どの程度の利用を希望しますか？



(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

「ちょこっと介護見守り支援」

サポート会員登録希望者を募集、

説明会・講習会を実施

令和4年1月28日事業説明会
2月18日介護講習会
2月25日介護実習



サポート提供会員の皆さんと



令和4年4月より本格始動
依頼会員募集中

Your Attention to Your Own Innovation!

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設
および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

(3) ダイバーシティ研究環境整備

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大



これまでの
女性研究者のみを対象とした
研究支援員制度

プラス

新たに
「男性研究者の支援枠」設立

育児/介護により研究ベースの維持が困難な
男性研究者1名を、書類審査・面接審査で
公正に選抜し、1年間研究支援員1名を配属
する費用を負担

令和4年度募集終了
令和5年度は10月より募集予定

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型） 2022/7/30
令和3年度報告

グローバルヘルスリーダー育成と 更なる女性登用

「YAYOIプロジェクト」



女性活躍人キャリア形成センターHP
<http://www.women-support.jp/>

YAYOIプロジェクトに ご協力いただいている皆様（順不同）

MPFU事務局
株式会社NTTドコモ
株式会社スタージェン
ユニファ株式会社
NPO法人 子育てネットワーク・ピッコロ
パーソルテンプスタッフ株式会社
株式会社スタッフサービス



II 事業報告① - 上位職への積極登用 -

女性教授割合の拡大状況

平成 28(2016)年に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」では、女性教授率 30%を目標に様々な取組を行い、令和 2(2020)年 7 月に特命担当教授(将来の教授候補者)を含めた女性教授率 31.1%を達成しました。

本事業では特命担当教授を含まない「女性教授率 30%の達成と維持」を目標とし、OECD 加盟国に匹敵する女性教授比率の達成を目指します。

【教授の女性割合と在籍数】

		女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.7%	36	99	135
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.2%	34	91	125

女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

女性教授比率の向上に加え、次世代の女性教授候補者層を厚くし裾野を広げるためには、女性准教授・講師を着実に育成していくことが不可欠です。優れた女性教員(女性研究者)に対し女性准教授・講師昇進昇格を積極的に実施し、女性教授比率 30%を今後も維持していくために、これまで 30%程度に留まっていた新規採用も含めた女性准教授比率、講師比率をそれぞれ 35%、40%とする目標を設定しました。本学では「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の一環として令和 2(2020)年度から教員評価制度が本格的に始動しており、適切な評価体制が整っています。また学祖 吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてより良い社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための組織「女性医療人リーダー育成部門」の本科生・登録生制度構築により、層の厚い人材育成を行ってきたことから、本事業では女性准教授・講師に関する学長指名推薦枠を導入、さらに看護系教育・研究職についても(特任教授、特任准教授に相当する)女性上位職の枠を新たに導入することで、女性教授候補者の層を厚くし、女性上位職の裾野を拡大します。

【准教授・講師の女性割合と在籍数】

		准教授				講師			
		女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.8%	33	90	123	33.5%	52	103	155
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.4%	32	85	117	34.2%	51	98	149

◆学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施

「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」演者である現准教授・講師をメンター、参加者をメンティとした個別アドバイスを実施しています。“女性研究者のキャリア形成”や“ライフイベントの乗り越え方”等、ピアラーニングの延長としてメンティの希望するテーマで身近なロールモデルであるメンターと科を越え自由に交流できる貴重な機会となっています。令和 4(2022)年度は希望者 2 名に対し、個別アドバイスを実施しました。

◆現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※)for 彌生人（やよいびと）」の開催

特色型で教授昇格を目的として行ってきたピアラーニングの「准教授・講師版」を「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」と称し、様々な分野で企画・開催をしています。この「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」のネーミングは、本学が輩出してきた多くのグローバルヘルスリーダーをロールモデルとし、これを目指す志を持つすべての女性研究者を「彌生人（やよいびと）」と総称することを由来としています。令和 4(2022)年度は 4 名の女性研究者にご講演いただき、希望者に対して個別アドバイスの場を設けていただきました。参加者からは、“今後どのように進んでいくかの指針になった”、“自分のキャリアプランを見直す手掛かりになった”等の感想が寄せられました。

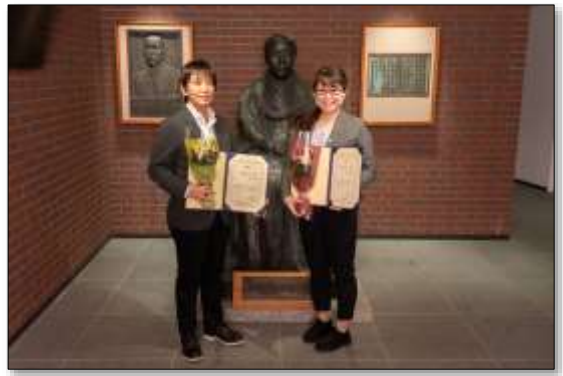
	年度	日付	講師	参加者
1	令和 4(2022)年度	令和 4(2022)年 9 月 28 日	赤穂理絵准教授（精神医学） 石垣景子准教授（小児科学）	9 名
2		令和 4(2022)年 12 月 19 日	井坂珠子准教授（呼吸器外科学）	4 名
3		令和 5(2023)年 2 月 22 日	丸山千秋先生（公益財団法人東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 脳神経回路形成プロジェクト・プロジェクトリーダー）	5 名

◆「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」の設立

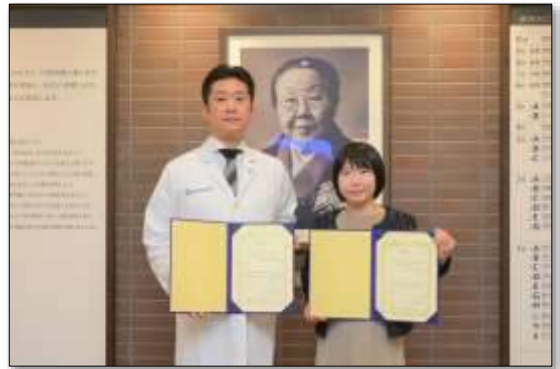
優れた指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師・看護師・non-MD を含む）が高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンター（医師・看護師・non-MD を含む）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を設立しました。令和 4(2022)年度は、4 ペアが受賞し、令和 4(2022)年 11 月 2 日に授与式を行いました。



- ・ メンティ：橘田綾菜助教
(八千代医療センター整形外科)
メンター：岡崎賢教授・基幹分野長 (整形外科学)
(授与式代理出席：岩倉菜穂子講師)



- ・ メンティ：菊池麻美助教
(足立医療センター脳神経外科)
メンター：久保田有一教授
(足立医療センター脳神経外科)



- ・ メンティ：武藤友香栄養士 (栄養管理部)
メンター：永田智教授・基幹分野長 (小児科学)



- ・ メンティ：落合萌子助教 (膠原病リウマチ内科)
メンター：田中榮一准教授 (膠原病リウマチ内科)



～「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」講評～

女性医療人キャリア形成センター 副センター長 齋藤加代子特任教授

令和4年11月2日（水）15時より第1回彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞授賞式が行われました。応募者は10組で倍率2.5倍の難関審査を4組のメンター・メンティが受賞なさいました。

本賞は、指導に当たった研究者（メンター）と当該メンティのペアを表彰し、メンティに対して、さらなる研究を支援するために研究助成を行うものです。4組の受賞者に対するコメントとして具体的には、以下のような講評がなされました。

- ・今回の応募論文を含み業績を積み重ねてきており将来有望な若手である。
- ・メンターの支えもあり、長期に亘って研究を続けた成果の論文であり多数の症例をまとめた学术论文である。
- ・実務に埋もれがちな業種であるが、メンターはメンティのリサーチマインドを発掘し、IFの高い雑誌の原著論文として掲載された。
- ・メンティのライフイベントの中で7年越しの努力とその指導、近年、メンティが継続的な実績を上げだしたことが評価される。

いずれも努力を積み重ねたメンティとその能力を引き出す優れたメンターのペアであります。

引き続き、次回のメンター・メンティ賞に多くの方が応募してくださいませう、そして、医療・医学への学術的貢献により本学における研究レベルの向上を目指されることを願っております。

学長指名推薦による女性教授登用

国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者も含む）の上位職登用を推進しています。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」において、これまでの「上位職への積極登用」の行動計画ではプラスファクターおよび特命担当教授任命制度により教授昇格者数が大幅に増加しました。令和4(2022)年度は、教員評価制度の高評価に基づいて学長指名推薦を受けた女性教授候補者が、第三者評価による公正な教授選考委員会の選考を経て、3名が教授に任命されました。（令和5(2023)年2月1日現在）

- ・西井明子教授（統合教育学修センター 基礎教育学）／令和4(2022)年5月26日付
- ・清水優子教授（医療安全科）／令和4(2022)年9月29日付
- ・飯嶋睦教授（脳神経内科）／令和4(2022)年11月1日付

オープンイノベーション講演会・交流会の実施

リーダーシップを発揮し異分野を繋げて未来の医療を担う女性医療人「彌生人（やよいびと）」の育成には、医・工・理含めた異分野連携、異業種連携の場が不可欠です。本学の医学系・理工系融合研究施設である先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」（以下 BMC）は、学内のみならず外部の企業、研究所、病院、文系大学など異分野・異職種からの参加希望者を対象とした医学全般のリカレント教育コースであり、医学・生命科学と理工学の先端テクノロジーを融合した新しい先端医療の実現に貢献する幅広い人材育成と研究・開発の実践を目指しています。既に 50 年以上の歴史を持ち修了生は 2000 名を超え、医薬品・医療機器分野の他、化学・材料分野、食品分野、情報・通信分野、出版分野など様々な異分野業界の第一線で活躍する人材を数多く輩出しており、中には女性も含まれています。

本事業では現在活躍中の BMC 修了生（女性を含む）によるオンライン講演会や交流会を実施し、広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進していきます。

◆第 2 回 オープンイノベーション講演会

日時：令和 4(2022)年 8 月 4 日（木）18：00-19：30

方法：オンライン

演者：番場嘉子先生 [外科学講座（下部消化管外科学分野）講師、メディカル AI センター副センター長]

小林英津子先生 [東京大学大学院工学系研究科教授]

参加者：約 35 名



◆第3回 オープンイノベーション講演会

日時：令和5(2023)年1月26日(木) 18:00-19:30

方法：オンライン

演者：北奈央子先生 [株式会社ジョコネ。代表取締役、NPO 法人女性医療ネットワーク 理事]

新井郷子先生 [東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 分子病態医科学部門
准教授、一般社団法人 AIM 医学研究所 副所長]

参加者：約 35 名



● 上位職への積極登用の取組 リーフレット

◆ 第1回ピアラーニング for やよいびと

東京女子医科大学
9月28日(水)

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

第1回開催のお知らせ

2022年9月28日 | 17:00~
Zoomによるオンライン開催

対象者
東京女子医科大学に在籍する
講師・助教を含む全ての
女性医師等女性研究者

大学院生、非常勤の方もどうぞ！足立、八千代からのご参加も大歓迎！

講演者

寺野 理絵 先生
精神神経科 准教授

石塚 長子 先生
小児科 准教授

進行
ダイバーシティ環境整備事業推進室
副室長
西井 明子 先生
総合教育センター長、教授
香福 真子 先生
消化器一科外科 講師

講演者の先生と自由にお話をしながら、ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるポイントは何ですか？
- どうやって進捗管理にしていますか？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？

お問い合わせ
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-5353-6112 FAX: 03-5353-6168
MAIL: cdc_fm@twmu.ac.jp
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

お申し込みは
こちらから

◆ 第2回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

~第2回開催のお知らせ~

開催日時 2022年12月19日(月)17:00~18:00

開催方法 Zoomによるオンライン開催
※後日のDVD貸出やオンライン視聴はございません

対象者 東京女子医科大学に在籍する講師・助教を含む全ての
女性医師等女性研究者

講演者 呼吸器外科 准教授
井坂 珠子 先生

講演者の先生と自由にお話をしながら、ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 女子医大でがんばるポイントは何ですか？
- どうやって進捗管理にしていますか？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？

お問い合わせ
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-5353-6112 FAX: 03-5353-6168
MAIL: cdc_fm@twmu.ac.jp
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

お申し込みは
こちらから

◆ 第3回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

~第3回~

~「脳発生学研究にたどり着くまで」~

講演者 丸山 千秋 先生
脳神経外科 准教授

講演者の先生と自由にお話をしながら、ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

例えば…

- 研究テーマをいかに見つけたか？
- 研究テーマを志す上で大事にしていることは？
- ワークライフバランスについて、どんな考えをお持ちですか？
- 進捗に合わせた研究生活を送るにはどうすればいいですか？

進行 (ダイバーシティ環境整備事業推進室 副室長) 西井 明子 先生 (総合教育センター長、教授) 香福 真子 先生 (消化器一科外科 講師)

お問い合わせ
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-5353-6112 FAX: 03-5353-6168
MAIL: cdc_fm@twmu.ac.jp
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

お申し込みは
こちらから

◆彌生人メンター・メンティ賞

◆第2回オープンイノベーション講演会

◆第3回オープンイノベーション講演会

Ⅲ 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -

本学の研究力向上状況

本学女性教職員の科研費応募件数は例年コンスタントに維持されております。本事業では、女性研究者の科研費等競争的研究資金の応募数 30%増、新規採択率 20%増、原著論文等 10%増を目指します。令和 3(2021)年度に引き続き、「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」における研究支援を実施し、令和 4(2022)年度より研究力向上の新たな取組として、科研費採択支援を開始いたしました。

基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援

本学の先端生命医科学研究所では 20 年前より独自の細胞シート工学を開発し、これを幹細胞生物学と臨床工学の架け橋として治療・創薬・疾患研究に応用しています。更には細胞農業を含めた異分野融合研究も始まっており、今後の幅広い展開が期待され既に本学内の医学部学生や若手研究者の注目を集めています。看護学領域においても、基礎医学研究の知見に発したアイデアを予防や治療、ケアのための技術・材料・機器開発に応用することで新たな研究開発分野を開拓できる可能性は大きく、本事業では、このような基礎医学と臨床工学の間を繋ぐいわば医・工・理の架け橋研究をスムーズに開始できるスタートアップ支援などの体制を構築し、これに関わる若手女性研究者の増加を促進していきます。本学には臨床工学と医学の先端的研究を行う研究施設として先端生命医科学研究所、メディカル AI センター、研究推進センターがあり、基礎医学系研究室との長年の共同研究実績も数多く、架け橋研究の基盤を有しています。先端技術に関わる研究開発を通じて、女性グローバルヘルスリーダーに欠かせない倫理的・法的・社会的な課題についての知見を深めます。

◆「架け橋研究支援」制度の実施

架け橋研究スタートを希望する女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援する制度です。これにより、架け橋研究の促進と、架け橋研究に関わる若手女性研究者の増加を推進します。令和 4(2022)年度は 5 名が採択され、令和 4(2022)年 8 月に授与式が行われました。

- ・ 坂井晶子助教（循環器内科）
-研究課題名「アンモニア PET による微小血管狭心症の診断から治療ストラテジーの確立」



- 青木信奈子助教（先端生命医科学研究所）
-研究課題名「心筋組織における血管新生抑制性制御の意義の解明」



- 番場嘉子講師（外科学講座 下部消化管外科）
-研究課題名「大腸癌手術におけるデジタルツインを用いた3Dモデル作成と手術シミュレーション」



- 金谷萌子助教（生理学 神経生理学分野）
-研究課題名「視床後内側腹側核における神経回路変化の機能的意義の解明」



- 辻真世子助教（呼吸器内科）
-研究課題名「個別化医療を目指した原発性線毛機能不全症気道上皮培養細胞のライブイメージング」



◆「架け橋研究指導者」による「架け橋研究紹介ツアー」の企画

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」を促進するため、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。「架け橋研究」を行う研究者同士の交流を兼ねて、令和3(2021)・4(2022)年度本支援採択者による後進育成活動の顔合わせディスカッション会を開催しました。今後は架け橋研究開始を希望する女性研究者を増やすため、既に学内で進行中の異分野融合研究プロジェクトを多数紹介し、それらの研究プロジェクトに関わる研究者と新たに参加を希望する研究者とが相互に意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の開催準備を進めています。また、架け橋研究担当責任者による勉強会を定期的に開催しています。

◆令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度本支援採択者による研究成果報告動画をYouTubeの東京女子医大公式チャンネルにて配信を開始しました。



◆メールリストによる研究希望者への情報発信

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メールリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

これまで本学医学部・看護学部では国際交換留学が盛んに行われており、世界の多数の大学との国際留学協定のもとで多くの学生を送り出し、また受け入れてきました。COVID-19 感染蔓延はいつ終わるとも知れず、このような海外渡航困難な状況下でも、既に本学では国際交流委員会が中心となり、海外留学を目指す学生、研究者、医師、看護師を対象に、海外経験を有するまたは海外で活躍中の卒業生や教職員からデジタルプラットフォーム上で経験談を聞き相互交流するプログラム「アナザースカイ」を定期的に実施しています。また看護学部においては COIL (Collaborative Online International Learning) を応用した国際教育プログラムが講義の一環として既に実践されており、長年にわたり学生交換留学を実施してきた海外の大学とオンライン交流が盛んに行われています。

本事業ではこれら国際交流の効果を研究レベルに拡大し活用するため、すでに国際留学協定の実績で信頼のある大学を含めた海外の複数の大学と、共用の研究デジタルプラットフォームを構築し、メンバー大学間で安全に共同研究活動を実施でき、情報やノウハウを相互に共有して研究効率を上げるためのシステム構築を目指します。これにより学内の海外留学・国際共同研究経験のある研究者を中心とした新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進め、さらに英語論文が採択された研究者には掲載料の補助を行い、研究力向上および上位職登用への促進を図ります。

また本学の先端生命医科学研究所がすでに活用しているアバターロボットを利用することにより、国内外の研究者が本学の研究現場に立ち合いディスカッションしたり、講義や研修を受けたりすることを可能にします。既に本学の研究者と米国の研究者との間でアバターロボットを用いたカンファレンスが試みられており、本事業ではその更なる利用拡大、国際共同研究活性化への貢献を支援していきます。

◆「国際共同研究支援」制度の実施

国際共同研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援する制度です。支援対象者が国際共同研究に積極的に関わることで、新たな国際研究交流の増加や国際共同研究の活性化を推し進めることを目的とします。令和 4(2022)年度は 3 名が採択され、令和 4(2022)年 8 月に授与式が行われました。

・望月牧子助教（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）

ー研究課題名

(和文) 骨髄不全症における造血幹細胞のミトコンドリア代謝機能変容の解明

(英文) Understanding the changing of mitochondria metabolism in BMF HSC

※セントジュード小児研究病院との共同研究



・河村(中山) 寿子助教(生理学 神経生理学分野)

-研究課題名

(和文) 社会性を欠いた生活環境下での感覚情報処理神経回路の破綻

(英文) Disruption of neural circuits in the sensory thalamus under living in social isolation

※コレージュ・ド・フランス, INSERM, パリ文理研究大学との共同研究



・岡本祐子講師(内科学講座 膠原病リウマチ内科学分野)

-研究課題名

(和文) 関節リウマチ発症ハイリスク者に認められるT細胞受容体シグナル変容

(英文) Altered T cell receptor signaling in at-risk for future development of rheumatoid arthritis

※コロラド大学デンバー校との共同研究



◆「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催

「国際共同研究」を促進するため、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。国際共同研究を行う研究者同士の交流を兼ねて、令和3(2021)・4(2022)本支援採択者による後進育成活動の顔合わせディスカッション会を開催しました。今後は国際共同研究経験者による講演会や座談会、相談会等の開催を企画しています。

◆「英語論文掲載料補助制度」の実施

国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的とし、国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料(論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等)の補助を行う制度を実施しています。令和4(2022)年度は7名に支援を行いました。

◆国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築

海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームを構築し、これを活用した国際研究講演会・交流会の企画を進めています。

令和5(2023)年1月21日、MPUF XRCC(XR Conference Cloud)を活用した岡本祐子先生(本学膠原病リウマチ内科)、高田秀人先生(米国コロラド大学リウマチ科)、Kristen Demoruelle先生(米国コロラド大学リウマチ科)、北原秀治先生(本学先端生命医科学研究所)による国際会議を実施しました。

メタバース空間を利用することで、空間内でスライドを共有し、対面での発表のように研究内容を紹介し、ディスカッションを行いました。今後は定期的に、米国コロラド大学とのメタバースを使用した国際会議を行っていく予定です。



◆アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

- ・カテーテル室での手技を海外の医師に伝達し意見交換を行うことを目的として、本学循環器内科 山口淳一教授・基幹分野長のご協力のもと、タイの病院 (Bangkok Christian Hospital) との Temi 通信テストを実施しました。今後も海外との意見交換や技術指導について検討を進めます。
- ・令和 5(2023)年 1 月 12 日に本学看護学部にて今後の国際交流を想定した temi の実装を行いました。temi を介して通常の授業のように臨場感のあるコミュニケーションを取ることができ、今後は海外の研究者に向けた研究紹介や国際共同研究の場で実際に活用していく予定です。



◆国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援

「国際共同研究がしたいけど渡航できない」と諦めている女性医師等研究者に向けて、国際的研究交流や国際共同研究のきっかけづくりとして、また国内・海外で国際的に活躍する女性研究者等とのネットワークを構築し、新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めることを目的として、国際的に活躍される研究者を演者として招聘した講演会や交流会の開催に対し、開催支援（謝金支援）を実施しています。令和 4(2022)年度は、石津綾子教授・基幹分野長（解剖学 顕微解剖学・形態形成学分野）主催のテキサス大学の吉本桃子先生による講演会について支援しました。



◆女性研究者をつなぐリアルタイムコミュニケーションツール（Slack）の活用

女性医師等研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的に、オンラインコミュニケーションツール“Slack（スラック）”を利用した、本学在籍の研究者による登録制の開かれた情報交換の場として「YAYOI コミュニティ」を開設しました。現在、「国際共同研究支援」採択者を中心に 23 名が登録し、国際共同研究に関する情報交換や若手研究者からの海外留学の相談など、研究者同士の交流が広がっています。

◆令和 3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信

令和 3(2021)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医大公式チャンネルにて配信を開始しました。



◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築

文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)の事業においては、本学卒の女性研究者が、令和 2(2020)年度の研究支援員制度を活用し AI 研究を開始するなど、学内では医療 AI 研究の機運が高まっています。AI 研究への若手女性研究者参画をこれまで以上に促進するため、本事業では学内外の研究者に AI 活用の基本を学修する機会や実際の AI 開発の現状を習得する機会を豊富に提供し、女性研究者の学内外における AI 研修、講習会参加を支援します。また医療 AI 研究に特化した学内研究施設であるメディカル AI センターにおいて、新たに AI 研究インターンシップ制度を構築し、学内外の様々な保健医療分野で活躍する女性研究者が AI 研究を開始できるようスタートアップ支援を行います。

◆「AI 研究スタートアップ支援制度」の実施

AI 研究を開始する女性研究者を『AI 研究スタートアップ支援金』により支援し、保健医療分野における AI 研究を増加・促進します。令和 4(2022)年度は 4 名が採択され、令和 4(2022)年 8 月に授与式が行われました。

・稲野辺奈緒子講師 (看護学部)

ー研究課題名

「看護師の観察力向上のための AI を活用した訓練プログラムの開発」



・中尾梨沙子助教 (循環器内科・予防医学科)

ー研究課題名

「深層学習による仮想心筋 PET と SPECT 補正診断技術」



・ 富永絢子助教（整形外科）

-研究課題名「AI を活用した単純 X 線検査での
骨粗鬆症スクリーニング検査の確立」



・ 河合萌子助教（眼科）

-研究課題名「画像間距離測定による地図状萎縮
進行の評価」



◆ 「AI 研究指導者」による「AI インターンシップ制度」の構築

「AI 研究」を促進するため、令和 3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担い、本学「メディカル AI センター（以下、MAC）推進会議」にて、AI 研究指導者を含む AI 研究者による研究紹介・勉強会を実施しています。また保健医療分野における AI 研究を活性化するプロジェクトとして、新たな AI 研究開始を希望する女性研究者が AI 医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べる AI インターンシップ制度を構築しました。本学の MAC ではすでに定期的に MAC 主催 AI 講習会、AI 演習会を開催することで AI 教育を実施しており、更に本事業主催による AI 講習会、AI 演習会を学内で開催し、多くの女性研究者が参加しました。

・ AI・臨床統計無料相談会

日時：下記日程の 16 時-18 時

<2022 年>4 月 22 日（金）、5 月 27 日（金）、6 月 24 日（金）、7 月 22 日（金）、9 月 22 日（木）、10 月 21 日（金）、11 月 25 日（金）、12 月 23 日（金）

<2023 年>1 月 20 日（金）、2 月 24 日（金）、3 月 24 日（金）

方法：Web セミナー形式で開催

・ 画像データ演習会

日時：令和 4(2022)年 12 月 21 日(水)17 時-18 時

方法：Web セミナー形式で開催

・第2回 医療・ヘルスケア AI 講演会

日時：令和5(2023)年2月13日(月)17時-18時30分

方法：Webセミナー形式で開催

・表形式データの機械学習演習会

日時：令和5(2023)年2月20日(月)17時-18時

方法：Webセミナー形式で開催

◆「AI 講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI 研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外の AI 講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助する制度を設立しました。女性研究者が自らの希望するテーマで AI 研究を開始するための基本知識習得機会を増やすことを目的としています。令和4(2022)年度は1名(2件)に対し支援を行いました。

◆令和3(2021)年度採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医大公式チャンネルにて配信を開始しました。



◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

科研費申請支援

◆科研費採択率向上のための申請書レビューの実施

競争的研究費申請支援事業の一環として、下記の科学研究費種目に申請した女性研究者（研究代表者、研究分担者）のうち希望者約 60 名に対し、科研費申請書の無料申請書レビュー（※委託業者：ロバスト・ジャパン株式会社）を実施しました。

【申請書レビュー対象となる科学研究費種目】

- ・基盤研究（A、B、C）、若手研究、挑戦的研究、研究活動スタート支援
- ・国際共同研究強化（A、B）
- ・奨励研究、研究成果公開促進費

【レビュー内容】

- ・論理構成に関するコメント、文章表現、必要事項の記載チェック、費用算定のレビュー、書式調整についてのアドバイス

◆科研費セミナーの開催

申請書レビュー同様、競争的研究費申請支援事業の一環として、科研費セミナーを開催しました。第 1 回目は、信州大学の女性 URA 阿部知子先生をお迎えし、「研究支援からみた研究における科研費とは」をテーマにしたご講演と、本学教職員との座談会をオンラインにて開催しました。

日時：令和 5(2023)年 2 月 24 日（金）17：00-18：30

方法：オンライン

演者：阿部知子先生〔信州大学学術研究・産学官連携推進機構リサーチアドミニストレーション室 准教授〕

座談会登壇者：阿部知子先生

番場嘉子先生〔消化器・一般外科 講師〕

中山寿子先生〔生理学（神経生理学分野）講師〕

山内典子氏〔八千代医療センター看護部 看護師〕

佐々木孝寛氏〔研究推進センター TRC 室 URA〕

● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット

◆研究支援 公募のお知らせ

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先進型)】

令和4年度
研究支援 公募のお知らせ

1. 架け橋研究支援
2. 国際共同研究支援
3. AI研究スタートアップ支援

【募集要項、応募書類】
QRコードよりHPをご覧ください。

【お問い合わせ】
フォームからの問い合わせにご協力をお願いします。
内容確認後、最速で事務局よりメールにて回答いたします。

東京女子医科大学 女性医職人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

1. 架け橋研究支援

基礎医学と臨床工学の橋を築く、医・工・学での「架け橋研究」

すでに架け橋研究に携わっている
もしくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

➔

若手女性研究者の
増加を促進

支援総額	725万円(一人当たりの上限金額 145万円) ※年数限り無し不償			
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ●東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(※※※、大卒以上等) ●専攻として本支援終了後2年間は本学に在籍し、「架け橋研究推進費」として活動できる方 ●応募には、所属長の許可を必要とします。 ●年齢制限はありませんが、45歳未満までの若手女性研究者を優先します。 ●応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の機関からの助成金を受けていては差し支えありません。 ●同一年度の「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」への応募はできません。 ●1課題(分野)につき、同一年度内の応募は「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」各1件までとします。 			
支援金 使途	本研究に直接費する物品(ただし設備費以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。			
募集 締切日	令和4年5月9日(月) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名	研究支援金交付後 ～令和5年3月31日(金)
応募書類	①課題書 ②架け橋研究推進申請書 ③業績目録 ※応募書類の形式がHPよりダウンロードしてください(表紙のQRコード参照)			
支援金交付 決定までの 流れ	4月初旬 学内公募、応募書類受付 5月下旬 審査委員会による最終審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付			
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。			

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

2. 国際共同研究支援

国際的研究文地の増加、国際共同研究の活性化のための「国際共同研究支援」

すでに国際共同研究に携わっている
もしくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

➔

新たな国際的研究文地の増加
国際共同研究の活性化を
推進させる

支援総額	500万円(一人当たりの上限金額 100万円) ※年数限り無し不償			
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ●東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(※※※、大卒以上等) ●海外の研究者(国際・性別問わず)と共同研究を行っている方 ●専攻として本支援終了後2年間は本学に在籍し、「国際共同研究推進費」として活動できる方 ●応募には、所属長の許可を必要とします。 ●年齢制限はありませんが、45歳未満までの若手女性研究者を優先します。 ●応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の機関からの助成金を受けていては差し支えありません。 ●同一年度の「架け橋研究支援」「AI研究スタートアップ支援」への応募はできません。 ●1課題(分野)につき、同一年度内の応募は「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」各1件までとします。 			
支援金 使途	本研究に直接費する物品(ただし設備費以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。			
募集 締切日	令和4年5月9日(月) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名	研究支援金交付後 ～令和5年3月31日(金)
応募書類	①課題書 ②国際共同研究支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の形式がHPよりダウンロードしてください(表紙のQRコード参照)			
支援金交付 決定までの 流れ	4月初旬 学内公募、応募書類受付 5月下旬 審査委員会による最終審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付			
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。			

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

3. AI研究スタートアップ支援

保健医療分野でのAI研究推進のための「AI研究スタートアップ支援」

AI研究を新たにスタートする
女性研究者を支援

➔

保健医療分野での
AI研究を推進させる

支援総額	500万円(一人当たりの上限金額 100万円) ※年数限り無し不償			
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ●東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(※※※、大卒以上等) ●専攻として本支援終了後2年間は本学に在籍し、「AI研究推進費」として活動できる方 ●応募には、所属長の許可を必要とします。 ●年齢制限はありませんが、45歳未満までの若手女性研究者を優先します。 ●応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の機関からの助成金を受けていては差し支えありません。 ●同一年度の「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」への応募はできません。 ●1課題(分野)につき、同一年度内の応募は「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究スタートアップ支援」各1件までとします。 			
支援金 使途	本研究に直接費する物品(ただし設備費以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。			
募集 締切日	令和4年5月9日(月) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名	研究支援金交付後 ～令和5年3月31日(金)
応募書類	①課題書 ②AI研究スタートアップ支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の形式がHPよりダウンロードしてください(表紙のQRコード参照)			
支援金交付 決定までの 流れ	4月初旬 学内公募、応募書類受付 5月下旬 審査委員会による最終審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付			
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。			

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

◆英語論文掲載料補助制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」

令和4年度 対象者募集

英語論文掲載料補助制度

令和4年度受付締切：令和5年2月3日(金)

対象者：東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）

国際共同研究の成果、もしくは国際共同研究に発展しうる成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料（論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等）の補助を行う制度です。



対象となる論文

- 一件につき上限40万
- 在席内1論文まで
- その他※1

補助対象外

- 論文控稿料
- 印刷作成にかかる印刷代※2
- 論文投稿費用
- ※1、2、3伊勢原

以下の1〜3を全て満たすもの、または1と3を満たすものを対象とする

- 「Web of science」に収録されている査読付き国際学術雑誌に掲載が決定した原著論文
- 海外研究機関に所属する者（性別・国籍問わず）が、著者として一名以上含まれるもの
- 令和4年4月1日〜令和5年1月31日までの期間に掲載料を支払ったもの

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail : odc.br@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
実態調査・申込書類はホームページをご覧ください



◆AI 講習会、研修会 参加費補助制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」

令和4年度 対象者募集

AI講習会、研修会参加費補助制度

令和4年度受付締切：令和5年2月3日(金)

対象者：東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）対象
補助金額は一件につき上限10万円
申請者一名につき毎年一回の回数まで申請可能



対象となるAI講習会、研修会 ※オンラインによる参加も含む

- ①医療保険分野のAI講習会、研修会
- ②AIの一般基礎知識、データサイエンス等に関する講習会、研修会
- ③AIに関する資格取得のための講習会、研修会
- ④学会等で開催されるAI関連のセミナー、シンポジウム等

※以下は補助対象外

- ・全に関連する学会入会費ならびに年会費
- ・基本的なコンピューター操作訓練のための研修費

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail : odc.br@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
実態調査・申込書類はホームページをご覧ください



◆「国際研究講演会・交流会」開催支援

YAYOIプロジェクト

国際研究講演会・交流会

開催支援

女性研究者をはじめとした「国際的に活躍される研究・発表」を目的とする講演会・交流会をダイバーシティ事業の一環として開催支援します。

目的

国内・海外で国際的に活躍する研究者による「国際的に活躍される研究・発表」を目的とする講演会・交流会をダイバーシティ事業の一環として開催支援します。

支援の流れ

1. 申請書の提出
2. 審査
3. 開催
4. 報告書の提出

支援対象となる条件

国際的に活躍する研究者等（「科学」を主とする自然科学系研究の国際的な活躍を目的とする講演会・交流会）を開催する者（女性・男性どちらも可）
講師・参加者・本学外部の女性研究者等が必ず参加し、国際化・グローバル化・教育・研究・交流の推進に貢献するものであること

お問い合わせ先：女性医療人キャリア形成センター
Mail : odc.br@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166






◆「YAYOI コミュニティ」参加募集

YAYOIプロジェクト

YAYOI コミュニティ

参加者募集

Slack利用した東京女子医科大学研究者のための

※学内専属の女性医師等研究者の育成、研究向上、共同研究の促進・活性化を目的とし、Slackを使った研究者同士の「繋がれた情報交流の場」として開設しました。
#YAYOIにてコミュニケーションがとれる Slack チャンネルをご用意いたします。

性別・職位・所属問わず本学に在籍し研究に携わる方
(正・兼任教員、准教授、研究員、研究員、研究員)

@twmu.ac.jpのメールアドレスをお持ちの方

HPより運用ルールや使い方をチェック

参加しよりコミュニティへ参加ください

コミュニティへの参加・詳細は右記QRコードもしくは、URL : (<http://www.twmu.ac.jp/research/news/detail/749-13112>) より

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
Mail : odc.br@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
ホームページURL: <http://www.twmu.ac.jp/research/news/detail/749-13112>




◆AI・臨床統計無料相談会

文部科学省科学技術振興機構学術振興事業
「タイプ1-シニア」研究開発推進イニシアティブ（連携型）
Your Attention to Your Own Research

グローバルヘルスマスター育成と異なる高度専門
「R&Dプロジェクト」
See Attention to Your Own Research

女性医療人キャリア形成センター主催
お持ちのデータ活用に悩んでいる先生方

AI・臨床統計 無料相談会

「動画・画像データを持っているが
どうやってAIに学習させればいいのか分からない」
「臨床データの蓄積があるが、適切な統計手法がわからない」
そんな方のために、無料相談会を実施します。

相談無料

事前予約制
事前にメールにてご返信いただき、日程調整の上、ご参加いただきます。
※先着5名限ります

専門家による個別相談
個別内容に合わせて、AIもしくは医療統計の専門家にご相談内容に対応させていただきます。

ZOOMオンライン開催
Zoomによるオンライン開催のため、実施していただく必要はございません。

対象 本学所属の女性研究者
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

開催日時 下記日程の16時から18時まで（お時間はご相談に応じます）

2022年	4月22日（金）	2023年	1月20日（金）
	5月27日（金）		2月24日（金）
	6月24日（金）		3月24日（金）
	7月22日（金）		
	9月22日（木）		
	10月21日（金）		
	11月25日（金）		
	12月23日（金）		

AI・臨床統計無料相談会へのお申込み
・株式会社スタージェン（担当：熊取）
※お問合せはメールでご連絡ください。
・メールアドレス：asc@stagen.co.jp

◆画像データ演習会

文部科学省科学技術振興機構学術振興事業
「タイプ1-シニア」研究開発推進イニシアティブ（連携型）
Your Attention to Your Own Research

グローバルヘルスマスター育成と異なる高度専門
「R&Dプロジェクト」
See Attention to Your Own Research

ExcelデータをAI用教師データにする！ 第3回 表形式データの機械学習 演習会

主催 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

「これまで研究データは全てマイクロソフトのExcelで保存してきたが
Excel形式のデータなどの表形式データはAIでは使用できなくてがっかり…」
こんな方のために、表形式データ解析の実習を行います。
無料のソフトを使用して、ご自身のPCでデータ解析を実施して頂きます。
AIに興味をもちつつも、ハードルが高いと感じている方に！
超初心者向け！

内容

日常で最もよく見るデータは、Excelに代表される表計算ソフトで取り扱う、表形式データです。
本講習会では、Google Colabotaryを利用した実習で、表形式データに手軽に利用できる、高い性能を誇る事で知られる、XGBoostとLightGBMの使い方について学びます。

日時 令和5年2月20日（月） 17:00-18:00

会場 東京女子医科大学 彌生記念教育棟104号室

定員 5名 **参加費無料**

対象 本学所属の女性研究者
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

講師 戸塚裕彦（とつかひろひこ）
株式会社スタージェン 情報解析事業部所属

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください
当日の持ち物等についても、裏面をご確認ください

◆第2回医療・ヘルスケア AI 講演会

文部科学省科学技術振興機構学術振興事業
「タイプ1-シニア」研究開発推進イニシアティブ（連携型）
Your Attention to Your Own Research

グローバルヘルスマスター育成と異なる高度専門
「R&Dプロジェクト」
See Attention to Your Own Research

医療現場へのAI活用が分かる！ 第2回 医療・ヘルスケアAI講演会

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター主催

日時 2月13日（月）17:00~18:30

会場 Webセミナー形式で開催

参加費無料

こんな方にオススメ！

- 医師等の医療・病院関係者
- 製薬、医療機器、臨床検査、健康美容等の医療・ヘルスケア関連企業
- その他医療分野におけるAIの活用に興味を持つ方、メディアなど

講演内容

①「診療情報とオミックスデータを用いたデータ駆動創薬と創薬機能的探索」
- 内容：創薬において臨床試験phase I（における健康中止の理由の過半数は実効性の実証失敗にあり、実験動物から得られた知見をもとにした創薬機能的探索に限界があると考えられる。本講演では、診療情報及びオミックスデータを用いてデータ駆動的に患者層別を行う創薬機能的探索手法と、それを用いた創薬機能的探索について紹介する。
- 講師：渡辺 真由（まゆみ）先生
- 所属：製薬企業、健康・美容研究科 AI健康・創薬研究センター

②「人工知能AIを用いた大腸癌に対するTotal Navigation Surgery」
- 内容：Total Navigation Surgery (TNS) とは、患者に低侵襲で増進性の高い最適な手術を行うため、術前術中のビジュアルデータを基にした外科診療の人工知能AIシステムである。TNSの基礎研究として、術前に構築した術前画像診断モデルや手術動画における物体認識モデル、また手術室シミュレーションを紹介する。
- 講師：香藤 嘉子（かほこ）先生
- 所属：東京女子医科大学 科科学講座 下部消化器外科科

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください

◆表形式データの機械学習 演習会

文部科学省科学技術振興機構学術振興事業
「タイプ1-シニア」研究開発推進イニシアティブ（連携型）
Your Attention to Your Own Research

グローバルヘルスマスター育成と異なる高度専門
「R&Dプロジェクト」
See Attention to Your Own Research

画像データ 演習会

主催 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

「AIの代表的な利用といえば画像データの判別。
画像データの判別に興味がある、実際にやってみたいけれども、パソコンの他に何が必要になるのかも分からない…」
こんな方のために、画像データ判別の演習を行います。
ご自身のWindowsパソコンから無料で利用できるクラウド環境であるGoogle Colabにアクセスして、AIのプログラムを実行し、
画像データの判別を体験していただきます。超初心者向け！

内容

画像判別は、医療分野を含むAIの利用において、欠かせないものとなっています。
その中でも、最も基本的な方式である畳み込みニューラルネットワーク(CNN)の仕組みを解説します。同時に、夫と適の画像判別を行うCNNのプログラムを実際に動作させ、その性能の評価を行うことを通じて、
利用方法についての理解を深めます。

日時 令和4年12月21日（水） 17:00-18:00

会場 東京女子医科大学 彌生記念教育棟104号室

定員 5名 **参加費無料**

対象 本学所属の女性研究者
(医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める)

講師 戸塚裕彦（とつかひろひこ）
株式会社スタージェン 情報解析事業部所属

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください
当日の持ち物等についても、裏面をご確認ください

◆ 第1回科研費セミナー

東京女子医科大学 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」
Your Attention to Your Own Innovation!

第1回 科研費セミナー

2月24日(金) 17:00~18:30

・Zoomによるオンライン開催
・本学教職員とみなでもご参加いただけます
・大学師生、青年塾の方らとぞうし足並、八十代からのご参加も大歓迎！

第1部：講演会
「研究支援からみた研究における科研費とは」

講師：阿部知子先生
(福井大学 学術開発 学術資源管理機構 / リサーチフェロニストレーションシニア 准教授)



こんな方、
是非ご参加ください！

1. 研究における科研費
2. 公開情報をもとに考える課題意識
3. 研究費形成のポイント
4. 研究費の活用と申請のポイント

第2部：座談会

登壇者：阿部知子先生
豊島高子先生 (消化器一般外科 講師)
中山寿子先生 (生理学(神経生理学)分室) 講師)
山内祥子氏 (八千代医療センター 看護部 看護長)
佐々木幸寛氏 (研究推進センター TRC室 URA)

主催：阿部知子先生 (福井大学 学術資源管理機構) 准教授、伊(バーシティ)環境整備事業推進室

【お問い合わせ先】
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

TEL 03-3353-8112 FAX 03-3353-8116
MAIL cdc.bms@twmu.ac.jp
URL www.twmu.ac.jp
URL www.twmu.ac.jp/diversity



◆ 「YAYOI プロジェクト」ML 登録案内

Your Attention to Your Own Innovation !

女性研究者向け 『YAYOIプロジェクト』情報発信 メーリングリスト登録のご案内

本学は、令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOIプロジェクト』を発足しました。
この度『YAYOIプロジェクト』で行う研究支援やセミナーなど様々な情報をご案内するメーリングリストの運用を開始いたしましたので、是非ご登録ください。（登録無料）

配信内容 薬け橋研究
国際共同研究
AI研究
オープンイノベーション講演会・交流会
各種補助制度 など

対象者 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者
(医師以外の研究者、看護職、技師職、大学院生などを含む)

登録方法 下記QRコードもしくはURLよりご登録ください
<https://forms.gle/pM6geadLLCwHxD5U8>

【登録メールアドレスについて】
私用メールアドレスではなく、
twmuメールアドレスでのご登録をお願いします



**女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室**

TEL 03-3353-8112 (内線30166) MAIL cdc.bms@twmu.ac.jp

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」

IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -

本学の研究環境整備状況

平成 28(2016)年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)における様々な取組により育児支援を含む種々の研究環境整備を推進してきました。特に「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による信頼度の高いきめ細やかな子育て支援は、全国に大きな社会的波及効果をもたらしています。

本事業では、更なる育児支援として学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備と、「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロと連携した介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の新設を進めます。また同じく特色型事業で構築した研究支援員制度の利用対象者範囲をこれまでの女性だけでなく男性にも拡大し、更なる研究環境整備を図ります。

学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備

若手研究者の良い発表機会である学会の地方会や研究会などは土日祝日に実施されることが多く、比較的規模の小さい学術集会では託児サービスが用意されていないことも多々あります。また、国際学会や在宅オンラインで参加可能な学会では託児サービスの利用が難しく、参加の障壁となっています。そこで本事業では、託児サービスのない学会(地方会・研究会)、研修会、国際学会など(オンライン含む)に参加する際の託児費用の補助、更に本学施設内の院内保育所における土日祝日を含めた一時預かり保育制度の整備を進めています。

◆「学会参加時等の託児費補助制度」の実施

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会など(オンラインを含む)に参加する育児中の女性研究者が、託児サービス(ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、開催学会等の託児サービスなど)を利用する際、その費用を一部または全額補助する制度を設立しました。令和 4(2022)年度は 5 名(10 件)に支援を行いました。

◆院内保育所(学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所)におけるモニタリング調査の実施

保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のために院内保育所の ICT 環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供します。

また、保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート調査を令和 4(2022)年 2 月より開始しました。定期的にこのアンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討していきます。

実践的介護支援体制の構築

特色型では本学教職員がキャリアと介護を両立し活躍することができる環境整備を目指し、キャリアと介護の両立ハンドブック配布、介護相談窓口設置等に取り組んできましたが、令和3(2021)年度に本学全教職員を対象に実施した「介護に関するアンケート調査」の回答からは介護に対する不安を訴える声が非常に多く、同時に仕事と介護の両立を望む声が大多数である、といった現状が明らかになりました。また一方で「本学の介護支援制度を全く知らない」との回答も多数ありました。

本事業では新たな施策と共に介護支援制度を周知することで、介護支援制度利用者比率をこれまでの約0.3%から0.6%へ、さらにそれ以上に引き上げ、女性研究者が安心して研究に専念できる環境を整備していきます。

◆介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の開始

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、新たな介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を令和4(2022)年4月より新設しました。

この「ちょこっと介護見守り支援」は、国や自治体といった行政による介護支援とは異なり、まだ本格的な介護は必要としないけれど、独りにしておくのはご家族から見ると不安がある、という「ちょっとした見守り」を必要とされる女子医大教職員のご家族を対象に、例えばお食事の見守りや外出時の付き添い、話し相手などの「ちょこっと」した見守り支援を実施しています。令和4(2022)年度は1名(2回)の支援を実施し、毎月Zoomによる無料相談会を開催しています。

令和3(2021)年度から現在まで2回の提供会員講習会を開催し、10名の提供会員が誕生しました。また提供会員向けにスキルアップ研修会や茶話会を開催し、支援時の注意事項や情報共有を行っています。



◆介護支援ハンドブックの作成

令和3(2021)年12月に本学教職員対象として「介護支援」に係る調査を実施した結果、多くの方から「仕事を続けながら適切な支援を受け、仕事と介護を両立したい」との回答が得られました。しかし同時に「介護に関する不安」を訴える声も非常に多く聞かれました。キャリアと介護を両立していくためには、介護に直面した際の初動対応と、上手に社会制度を活用するための基礎知識が大切です。介護によってキャリアを諦めることのないよう、介護支援ハンドブック「介護ロードの歩き方」を作成し、全教職員に配布しました。

◆介護支援に取り組む施設への視察

介護支援に取り組む施設への視察として、大阪公立大学と富山大学へのオンライン視察を行いました。大阪公立大学は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）に採択（平成29年度～令和4年度）され、連携機関共同による「介護相談窓口」を開設しているとのことで、介護に関する取組や情報発信の手法、具体的な相談内容等についてお話を伺いました。また富山大学では、単身赴任者が多く遠距離の介護相談が多い為、地域包括と学内相談者の仲介を行い、地域包括支援センターのネットワークを使うことで相談対応が可能になっているとの貴重なお話が伺えました。

◆介護講演会の開催

介護を身近に感じる機会を提供する為、介護経験者による介護講演会を開催しました。第1回目は、NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」にご出演の恩蔵絢子先生をお招きし、「脳科学から見た認知症」をテーマにしたご講演と、本学教職員との座談会をオンラインにて開催しました。

日時：令和5(2023)年2月9日（木）17：00-18：30

方法：オンライン

演者：恩蔵絢子先生

座談会登壇者：恩蔵絢子先生

松村美由起先生〔成人医学センター 講師〕

山内典子氏〔八千代医療センター看護部 看護師〕

下村裕見子氏〔女性医療人キャリア形成センター 課長付〕



恩蔵絢子先生



本多祥子先生



松村美由起先生



山内典子氏



下村裕見子氏

研究支援員制度における対象者範囲の拡大

特色型では、ライフイベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった女性研究者や、これまでに十分な実績がある将来有望な女性研究者を支援し、研究活動をより活発にするため、研究者1名に対して支援員1名分の人件費を女性医療人キャリア形成センター基金等から拠出する「研究支援員制度」を創設しました。

本事業では、女性研究者に加え、女性研究者を支える男性研究者1名の支援枠を新たに設けました。令和4(2021)年度は審査を経て、出雲渉助教(外科学講座 肝胆膵外科学分野)が支援対象者に決定。10月1日～3月31日まで支援員による研究支援を実施しました。(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

● 「キャリアプランをあきらめない 介護ロードの歩き方」ハンドブック



ライフプランに「介護」が発生したら、「仕事との両立」を考える。

介護が発生したら、仕事との両立が難しくなる。介護と仕事を両立させるには、事前にライフプランを見直し、介護が発生した場合の対応策を事前に検討しておく必要がある。

介護が発生した場合の対応策

- ① 介護と仕事の両立を可能にするための対策を検討する。
- ② 介護と仕事の両立が難しい場合は、仕事を辞めるか、介護に専念するかを判断する。
- ③ 介護と仕事の両立が難しい場合は、介護施設や介護サービスを利用する。

WORK & CARE
介護と仕事の両立

① ② 先行きが見えにくからこそ、介護の全体像をイメージする。

介護は、高齢者の生活を支えるための重要な役割を果たしている。介護の全体像をイメージすることで、介護と仕事の両立がしやすくなる。

介護の全体像をイメージする

- ① 介護の全体像をイメージする。
- ② 介護と仕事の両立がしやすくなる。
- ③ 介護と仕事の両立が難しい場合は、仕事を辞めるか、介護に専念するかを判断する。

ROAD MAP
介護と仕事の両立

① ② ワークライフバランスの中で「介護」の割合を考える。

ワークライフバランスの中で、介護の割合を考える。介護と仕事の両立がしやすくなるように、介護の割合を調整する必要がある。

ワークライフバランスの中で「介護」の割合を考える

- ① ワークライフバランスの中で、介護の割合を考える。
- ② 介護と仕事の両立がしやすくなるように、介護の割合を調整する。
- ③ 介護と仕事の両立が難しい場合は、仕事を辞めるか、介護に専念するかを判断する。

WORK-LIFE BALANCE
ワークライフバランス

① ③ 介護ロードと一緒に進むチームメイトをたくさん作る。

介護ロードと一緒に進むチームメイトをたくさん作る。介護と仕事の両立がしやすくなるように、チームメイトを作る必要がある。

介護ロードと一緒に進むチームメイトをたくさん作る

- ① 介護ロードと一緒に進むチームメイトをたくさん作る。
- ② 介護と仕事の両立がしやすくなるように、チームメイトを作る。
- ③ 介護と仕事の両立が難しい場合は、仕事を辞めるか、介護に専念するかを判断する。

TEAMMATE
介護と仕事の両立

介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。

介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。介護と仕事の両立がしやすくなるように、仕事を辞める必要がある。

介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない

- ① 介護のために仕事を辞めても、解決される問題は少ない。
- ② 介護と仕事の両立がしやすくなるように、仕事を辞める。
- ③ 介護と仕事の両立が難しい場合は、仕事を辞めるか、介護に専念するかを判断する。

REALLY QUIT?
介護と仕事の両立

項目	割合
介護のために仕事を辞めた	20%
介護のために仕事を辞めなかった	80%

介護には、お金も時間もかかる。

介護には、お金も時間もかかる。介護と仕事の両立がしやすくなるように、お金と時間を確保する必要がある。

介護には、お金も時間もかかる

- ① 介護には、お金も時間もかかる。
- ② 介護と仕事の両立がしやすくなるように、お金と時間を確保する。
- ③ 介護と仕事の両立が難しい場合は、仕事を辞めるか、介護に専念するかを判断する。

TIME & MONEY
介護と仕事の両立

項目	金額
介護のために支払った費用	平均 5.1万円
介護のために支払った時間	平均 74分
介護のために支払った労力	平均 8.3万円

介護費用は、まずは親本人の資産から。

介護費用は「介護保険」から支払われますが、その限度額は月額約27万円です。介護費用が月額27万円を超える場合は、その超過分は親本人の資産から支払われます。

介護費用は「介護保険」から支払われますが、その限度額は月額約27万円です。介護費用が月額27万円を超える場合は、その超過分は親本人の資産から支払われます。

介護費用は「介護保険」から支払われますが、その限度額は月額約27万円です。介護費用が月額27万円を超える場合は、その超過分は親本人の資産から支払われます。



ASSETS

ENTRY!

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。



「エントリー期間」の過ごし方で、介護の負担は軽減できる。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。



PREVENTING FRAILTY

TALK WITH FAMILY!

介護の進捗を家族で話し合うことで、介護の負担を軽減できる。

介護の進捗を家族で話し合うことで、介護の負担を軽減できる。

介護の進捗を家族で話し合うことで、介護の負担を軽減できる。



「自分の時間」を使い始めたら、「介護の始まり」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。



START LINE

「うちの親に困って」と否定したくなるのが認知症。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。

介護への不安を感じ始めたとき、介護の「エントリー期間」。



DEMENTIA



介護ロードのスタートラインでやるべきは、介護する「態勢」を整える7つの行動。

介護者の生活、介護者の健康、介護者の生活環境を整えることが、介護のスタートラインです。介護者の生活環境を整えることは、介護者の健康につながります。

介護者の生活環境を整えることは、介護者の健康につながります。介護者の生活環境を整えることは、介護者の健康につながります。

介護者の生活環境を整えることは、介護者の健康につながります。介護者の生活環境を整えることは、介護者の健康につながります。

GET READY
介護者の生活環境を整える

態勢づくりの7つのアクション

態勢を整える① 地域包括支援センターに行く。

介護者の生活環境を整えるには、地域包括支援センターに行くことが大切です。地域包括支援センターでは、介護者の生活環境を整えるための支援が受けられます。

態勢を整える② 職場に報告する。

介護者の生活環境を整えるには、職場に報告することが大切です。職場に報告することで、介護者の生活環境を整えるための支援が受けられます。





態勢を整える③ 支援制度を計画的に活用する。

介護者の生活環境を整えるには、支援制度を計画的に活用することが大切です。支援制度を活用することで、介護者の生活環境を整えるための支援が受けられます。

介護者の生活環境を整えるための支援制度

- 介護保険（介護給付）
- 介護保険（介護給付）
- 介護保険（介護給付）
- 介護保険（介護給付）



態勢を整える④ 介護保険を申請する。

介護者の生活環境を整えるには、介護保険を申請することが大切です。介護保険を申請することで、介護者の生活環境を整えるための支援が受けられます。

介護保険申請の手順

1. 介護保険申請書の提出
2. 介護保険申請書の審査
3. 介護保険申請書の決定
4. 介護保険申請書の交付




態勢を整える⑤ ケアマネジャーを決める。

介護者の生活環境を整えるには、ケアマネジャーを決めることが大切です。ケアマネジャーを決めることで、介護者の生活環境を整えるための支援が受けられます。

ケアマネジャーを決めるためのポイント

- ケアマネジャーの経験
- ケアマネジャーのスキル
- ケアマネジャーの性格
- ケアマネジャーの料金

ケアマネジャーを決めるためのポイント



態勢を整える⑥ 介護サービス導入に立ち会う。

介護者の生活環境を整えるには、介護サービス導入に立ち会うことが大切です。介護サービス導入に立ち会うことで、介護者の生活環境を整えるための支援が受けられます。

介護サービス導入に立ち会うためのポイント

- 介護サービスの種類
- 介護サービスの料金
- 介護サービスの利用方法
- 介護サービスの利用場所




毎月介護プランの見直し

介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。

1 介護プランの見直し

介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。

2 介護プランの見直し

介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。

介護プランの見直し

介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。介護プランの見直しは、介護の状況が変化した場合に行う必要があります。

介護をしていると、必ず状況が変わるときがくる。

CHANGE

介護をしていると、必ず状況が変わるときがくる。介護の状況が変化した場合、介護プランを見直し、変更する必要があります。

毎月の「お変わりないですかチェック」で状況変化に対応する。

毎月の「お変わりないですかチェック」で状況変化に対応する。毎月の「お変わりないですかチェック」で状況変化に対応する。

お変わりないですかチェック

毎月の「お変わりないですかチェック」で状況変化に対応する。毎月の「おわりないですかチェック」で状況変化に対応する。

CHECK I

介護の状況が変わったら、ライフプランを再確認する。

介護の状況が変わったら、ライフプランを再確認する。介護の状況が変わったら、ライフプランを再確認する。

RE-DESIGN

もしも、どうしたらいいのかわからなくなったら。

もしも、どうしたらいいのかわからなくなったら。もしも、どうしたらいいのかわからなくなったら。

I'M LOST...

本人が望む介護とは？ 本人の希望を聞いておく。

本人が望む介護とは？ 本人の希望を聞いておく。本人が望む介護とは？ 本人の希望を聞いておく。

WISH

介護ロードの先には、必ず「人生の学び」がある。

10歳、100歳まで学び続ける。

新しい道を学ぶことは、人生の学びの始まりです。経験から、課題発見から、課題解決まで学び、問題を解決。課題解決から新たな学びへ、学びのサイクルを繰り返すことで、学び続けることが大切です。

学び続ける、学ぶことは人生の学び。新たな道を学ぶことは、人生の学びの始まりです。

東京女子医科大学の支援制度

【特別奨励金制度（特別生活費給付）】
 特別奨励金とは、経済的に困難な状況にある学生に、授業料・学費・生活費の一部を支援する制度です。申請は、入学後、授業料納入時に行います。申請は、経済的に困難な状況にある学生に、授業料・学費・生活費の一部を支援する制度です。申請は、入学後、授業料納入時に行います。

【特別奨励金の対象となる学生】
 1. 経済的に困難な状況にある学生
 2. 経済的に困難な状況にある学生
 3. 経済的に困難な状況にある学生

【特別奨励金の申請方法】
 1. 申請書を作成する
 2. 申請書を送付する
 3. 申請書の審査を受ける

【特別奨励金の審査基準】
 1. 経済的に困難な状況にある学生
 2. 経済的に困難な状況にある学生
 3. 経済的に困難な状況にある学生

【特別奨励金の支給額】
 1. 授業料・学費の一部
 2. 生活費の一部
 3. 授業料・学費の一部

【特別奨励金の申請期間】
 1. 入学後、授業料納入時
 2. 入学後、授業料納入時
 3. 入学後、授業料納入時

【特別奨励金の問い合わせ先】
 1. 学務課
 2. 学務課
 3. 学務課

東京女子医科大学「介護サポート」
 「もよこっと介護見守り支援」

高齢者介護施設職員と介護士は、一人ひとりをサポートする。高齢者介護施設職員と介護士は、一人ひとりをサポートする。高齢者介護施設職員と介護士は、一人ひとりをサポートする。

【介護サポートの目的】
 1. 介護士への支援
 2. 高齢者への支援
 3. 介護士への支援

【介護サポートの支援内容】
 1. 介護士への支援
 2. 高齢者への支援
 3. 介護士への支援

【介護サポートの問い合わせ先】
 1. 学務課
 2. 学務課
 3. 学務課

【介護サポートの問い合わせ先】
 1. 学務課
 2. 学務課
 3. 学務課

介護への関心

介護への関心は、介護士への関心。介護への関心は、介護士への関心。介護への関心は、介護士への関心。

【介護への関心の重要性】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護への関心の重要性】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護への関心の重要性】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護への関心の重要性】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

介護福祉の基礎知識

介護福祉の基礎知識。介護福祉の基礎知識。介護福祉の基礎知識。

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

介護福祉の基礎知識

介護福祉の基礎知識。介護福祉の基礎知識。介護福祉の基礎知識。

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

【介護福祉の基礎知識】
 1. 介護士への関心
 2. 高齢者への関心
 3. 介護士への関心

如何選擇合適的保險公司？

1. 了解保險公司的信譽和實力
 2. 比較不同保險公司的保費和保障範圍
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險代理人？

1. 了解代理人的專業背景和信譽
 2. 比較不同代理人的服務質量和收費
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險計劃？

1. 了解自己的需求和預算
 2. 比較不同保險計劃的保費和保障範圍
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險產品？

1. 了解自己的需求和預算
 2. 比較不同保險產品的保費和保障範圍
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險公司？

1. 了解保險公司的信譽和實力
 2. 比較不同保險公司的保費和保障範圍
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險代理人？

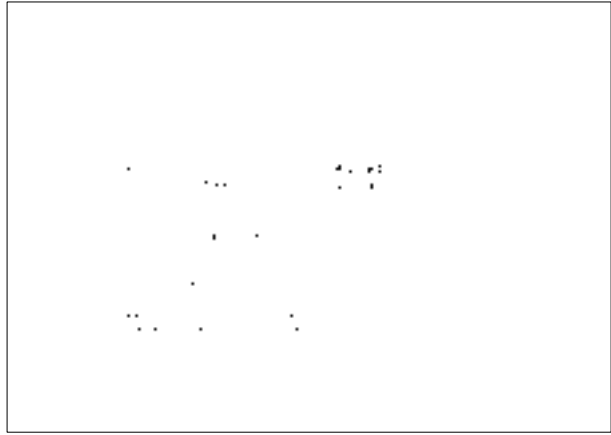
1. 了解代理人的專業背景和信譽
 2. 比較不同代理人的服務質量和收費
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險計劃？

1. 了解自己的需求和預算
 2. 比較不同保險計劃的保費和保障範圍
 3. 諮詢專業人士的意見

如何選擇合適的保險產品？

1. 了解自己的需求和預算
 2. 比較不同保險產品的保費和保障範圍
 3. 諮詢專業人士的意見



● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット

◆学会参加時等の託児費補助制度

文部科学省科学研究費助成事業
「ダイバーシティ研究環境整備イニシアチブ(先導型)」

令和4年度託児費補助制度

令和4年度受付締切:令和5年2月3日(金)

国内・国際学会、地方会、研究会、研修会など(オンライン含む)に参加し、対象となる託児サービスを利用した場合、利用料金の一部または全額を補助する制度です


※ 令和4年度については令和4年4月1日から令和5年1月末までにかかった託児費が補助対象となります

対象者
・12歳(小学生)以下の子どもを持つ東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(ただし非補助、大学院生を除く)
※対象となる子ども一人につき1回1万円までの金額

対象となる託児サービス

- 一時預かり保育
- ベビーシッター派遣サービス(全国保育サービス協会加盟事業者に限る)
- 『女子医大・東京国大ファミリーサポート』および各市区町村実施のファミリーサポートセンターによる育児支援
- 関連学会等の託児サービス

お問い合わせ先
女性座席人キャリア形成センター
ダイバーシティ推進事務局推進室
東松原西・串田南館はホームページをご覧ください
mail: cdc_support@tc.ac.jp
tel: 03-3353-8112 内線30166



◆院内保育所利用者アンケート調査

院内保育所利用者アンケート調査への回答について (お願い)

保護者の皆様へ

早速より、本院の保育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。東京女子医科大学ではこのたび令和3年度文部科学省科学研究費助成事業「ダイバーシティ研究環境整備イニシアチブ(先導型)」に採択され、取組の一つとして保育制度の整備を実施する運びとなりました。つきましては、やよい保育園では保育費をより削減しやすくするためにご利用いただくために、料金をおのりご負担を仰い、保育費の滞りや滞りについてのご意見を毎月アンケート調査を実施することとなりました。ご承知のこととは存じますがアンケート調査へのご協力のほどお願い申し上げます。なお、本アンケートの回答は匿名形式で集計されます。アンケートへの回答によって回答者の氏名を特定することはありません。

回答期間: 毎月10日まで
回答時間: 2-3分程度
回答方法: 下記ウェブサイトからご回答をお願いします。
-<URL>- <https://forms.gle/Vc9p8u3D7Jf973Jf6>
-<QRコード>-



本件のお問い合わせ先
ダイバーシティ推進事務局推進室
電話: 内線 30166
メール: cdc_support@tc.ac.jp

◆「ちょこっと介護見守り支援」案内

"本学初"の介護支援事業 〈ちょこっと介護見守り支援〉 依頼会員募集中!

介護のことで悩んでいませんか?
「ほんの少しお手伝いしてもらえたら助かるけど…」
「他に誰もいないから自分が仕事を休むしかないかな…」

東京女子医科大学・介護サポートが定める「提供会員協議会」を支援し稼いだ提供会員がサポートします!

専属アドバイザーが本学に常駐
介護サポートについての
お問い合わせや
ご相談だけでも大歓迎!
ぜひお気軽に
ご連絡ください!

どんなことを
求めるの? 依頼方法や
利用料は?

詳しくだけ
聞いてみたい

<問い合わせ先> (※TEL: NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ)
〒162-8666 新宿区河田町0-1 巴女子学生会館3階
東京女子医科大学・介護サポート
TEL: 03-5212-5206(直通) QRコードより
03-3353-8112(内線) 41301 メールをお送りいただけます
勤務: 八重(学つか)、朝日 Mail: kaigo-support_bsn@tc.ac.jp

"本学初"の介護支援事業 〈ちょこっと介護見守り支援〉

★ご利用例★

本学教職員のお役所の方

本学 河田町キャンパス(成人医学センター) 国立区センター 看護専門学校 八千代医療センター

依頼会員(支援を必要とする方)の対応先は、**新宿区および近隣区**の
※支援対象地域は印刷版

まずは
介護サポート(相談室)に
ご相談ください!

介護サポートについてのお問い合わせだけでも大歓迎です!
専属のアドバイザーが常駐しておりますので
ぜひお気軽にご連絡ください。

◆ちよこっと介護説明会



ちよこっと介護説明会
ちよこっと話を聞いてもらえる場所がありますよ
ZOOM で面談いたします
時間内にいつでも対応いたします
(月時は裏面参照)
介護でこんな悩みありませんか？
父は実家で一人暮らし、ちよこっとの配
私がお仕事をしている間、母の見守りや話し相手になってほしい等
ちよこっと介護でサポートできることを中心に一層に考えていきます！
(家事・掃除) (食事の準備)
介護難あるいは自らも介護経験のある
専門スタッフが担当します。
私たちがアドバイザーです お気軽にご相談ください！
【お問い合わせ】
東京女子医科大学 介護サポート（高齢学）女子学生センター3階
〒162-8601 東京都目黒区三軒が通3-1-1 TEL: 03-3393-2006 (直通)
メールアドレス: kcc@hmu.ac.jp URL: <http://www.hmu.ac.jp/w-ssupport/>

◆第1回介護講演会



第一回介護講演会
2月9日(木) 会場 Zoomによるオンライン講演会
17:00~18:30 参加 本学に在籍するすべての教職員
第一部 講演会
演者：恩蔵 絢子 先生 脳科学者
テーマ：『脳科学から見た認知症』
第二部 座談会
司会：本多 祥子 先生 脳科学者
演者：恩蔵 絢子 先生 脳科学者
松村 美由紀 先生 成人医学センター講師
山内 典子 氏 八千代医療センター看護部長
下村 祐見子 氏 女性医療人キャリア形成センター課長
司会：本多 祥子 先生 脳科学者(神経分子生物学)准教授 ダイバーシティ推進推進事業推進委員
NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の母」(初回放送日: 2023年1月7日)
ご出演の**恩蔵 絢子** 先生による講演会
プロフィール
脳科学者。
東京工業大学大学院総合理工学研究所知能システム科学専攻博士課程を修了、学術博士。
金城学院大学・早稲田大学・日本女子大学で、非常勤講師を務める。
著書に『脳科学者の母が、認知症になる』
『脳に「生きがい」(茂木健一郎著)、『脳の科学』
(ジョナサン・コール著、茂木健一郎監訳)がある。
お申込み
お問い合わせ先
東京医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ推進推進事業推進室
Mail: coc_fm@wmu.ac.jp
Tel: 03-3393-8112(内線30166)
お申し込みはこちらから
(受付開始2月8日)

◆女性研究者を支える男性研究者のための研究支援員制度



2022年度 男性医学研究者対象 研究支援員制度
利用者募集のお知らせ
募集期間
2022年4月1日～
2022年6月3日(必着)
研究支援員制度
研究費の範囲内で研究の補助作業を行う
「研究支援員」を毎月1名につき1名派遣すること
ができるのは1日4時間×週4日(16時間)が上
限です
支援員の人員費は女性医療人キャリア形成センター
が負担します
応募対象者
・子育て・介護等で時間の確保が難しい
本学所属の男性医学研究者(専業以下)
・配偶者が本学の研究機関に所属している研究者
またはフルタイムで就業している者
・専業主婦または専業主夫がいない者
応募方法その他
女性医療人キャリア形成センターのHP上にある
募集要項をご覧ください。
QRコードから応募可能です。
問合せ先
女性医療人キャリア形成センター 研究支援員制度担当
TEL: 03-3393-8112 (内線30166)
MAIL: coc_fm@wmu.ac.jp
URL: <http://www.hmu.ac.jp/w-ssupport/>



2023年度 男性医学研究者対象 研究支援員制度
利用者募集のお知らせ
募集期間
2022年10月1日～
2022年12月2日(必着)
研究支援員制度
研究費の範囲内で研究の補助作業を行う
「研究支援員」を毎月1名につき1名派遣すること
ができるのは1日4時間×週4日(16時間)が上
限です
支援員の人員費は女性医療人キャリア形成センター
が負担します
応募対象者
・子育て・介護等で時間の確保が難しい
本学所属の男性医学研究者(専業以下)のうち
・配偶者が本学から研究機関に所属している研究者
またはフルタイムで就業している者
・専業主婦または専業主夫がいない者
応募方法その他
女性医療人キャリア形成センターのHP上にある
募集要項をご覧ください。
(QRコードから応募可能です)
問合せ先
女性医療人キャリア形成センター 女性医師・研究支援員部門
TEL: 03-3393-8112 (内線30166)
MAIL: coc_fm@wmu.ac.jp
URL: <http://www.wmu.ac.jp/w-ssupport/>

その他の活動

◆全国ダイバーシティネットワークへの参画

文部科学省と連携して女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む諸機関をつなぐ「全国ダイバーシティネットワーク」の東京ブロックに参画し、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開を図ることを目的とした活動を行っています。

- ・令和4(2022)年7月15日 第1回東京ブロック会議 メール会議
- ・令和4(2022)年9月1日 第2回東京ブロック会議 本多室長・下村課長付出席
- ・令和4(2022)年12月23日 第3回東京ブロック会議 本多室長・下村課長付出席

◆視察等

・令和4(2022)年9月28日、イタリア大臣（大学・研究担当）の本学に来校され、先端生命医科学研究所を見学されました。その際、大臣ならびにイタリア大使館科学技術担当に対し、女性医療人キャリア形成センター副センター長 齋藤加代子教授と本事業“バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化”担当責任者 石津綾子教授より、本事業を中心とする本学の女性医師・研究者支援について紹介を行いました。




・長野県松本保健福祉事務所・木曾保健福祉事務所より本学における女性研究者のキャリア形成支援や女性医師支援の取組についての視察依頼を受け、令和4(2022)年11月21日にZoomによるオンライン面会を実施しました。ダイバーシティ環境整備事業推進室 本多室長、女性医師・研究者支援部門 佐藤部門長、女性医師再研修部門 横田副部門長より、本事業を含む本学の女性医師のキャリア形成への取組について紹介しました。

お問い合わせ先一覧

●育児について (56 ページ)	ファミリーサポート室	人事課(院内保育所)
	03-5369-9075 または 03-3353-8112(内線 41152)	03-3353-8112 (内線 30114 または 30115)
	河田町 巴女子学生会館1階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●介護について (57 ページ)	介護サポート	人事課(介護相談窓口)
	03-5312-5206 または 03-3353-8112(内線 41361)	03-3353-8112 (内線 30111 または 30113)
	河田町 巴女子学生会館 3階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●上記以外の ダイバーシティ事業に ついて	女性医療人キャリア形成センター	センターHP 
	03-3353-8112(内線 30166)	
	cdc.bm@twmu.ac.jp	
	河田町 総合研究棟 1階	

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和4年度報告書

発行 令和5(2023)年3月
編集 ダイバーシティ環境整備事業推進室
(女性医療人キャリア形成センター)
MAIL cdc.bm@twmu.ac.jp
URL <http://www.twmu.ac.jp/gender/divercity/>



学校法人 東京女子医科大学

女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 番 1 号

TEL : 03-3353-8112 (内線 30166)